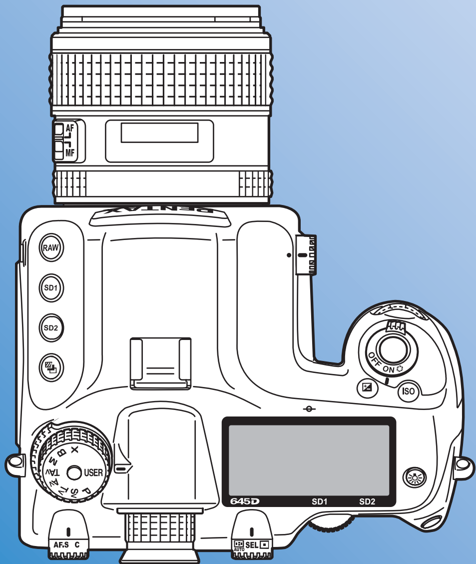
PENTAX

JA

中判デジタル一眼レフカメラ

645D

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・中判デジタル一眼レフカメラ645Dをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

使用できるレンズについて

このカメラで使用できるレンズは、基本的にD FA645・FA645または絞り**A**（オート）位置のある645レンズです。それ以外のレンズやアクセサリーを使用するときは、本書のp.26をご覧ください。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国々で登録されているApple Inc.の商標です。

SDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。

DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。

「PRINT Image Matching」「PRINT Image Matching II」「PRINT Image Matching III」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

警告 このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- 望遠レンズを付けた状態で、長時間太陽を見ないでください。目を痛めることがあります。特にレンズ単体では、失明の原因になりますのでご注意ください。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

警告

- バッテリー充電器と AC アダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100－240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器 D-BC90P で充電式リチウムイオンバッテリーD-LI90P以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

⚠ 警告

- バッテリーは乳幼児の手の届かない所に保管してください。特に、口に含むと感電の恐れがありますのでご注意ください。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- このカメラでは、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「－」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
  1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
  2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
  3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

SDメモリーカードについて

⚠ 警告

- SDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、記録内容の保証はご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微小の電流が流れて過放電になり、バッテリーの寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACコードは、バッテリー充電器D-BC90P専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は－10～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズ、ファインダー窓のほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させる恐れがありますので、使用しないでください。
- CCDの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。（有料）

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。

その他

- 高性能を保つため、1〜2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.32）をご覧ください。
- SDメモリーカードに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。「パソコン利用編」（p.81）をご覧ください。

マニュアルの構成

このカメラには『使用説明書』（本書）と『メニューリファレンス』の2冊のマニュアルが付属しています。用途に合わせて使い分けてください。

使用説明書

使用前の準備やカメラの基本操作について掲載しています。ページ番号は1～101で表示されています。

メニューリファレンス

MENU ボタンを押して設定する機能の詳細と、製品仕様を掲載しています。使用説明書を読んで基本的な操作を理解したら、外出時などにメニューリファレンスだけを予備的に持ち歩くと便利です。ページ番号はR1～R48で表示されています。

また、次のマークで関連する説明の参照先を示しています。

☞ 同じマニュアル内を参照

📖 別冊のマニュアルを参照

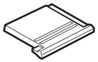
使用説明書 目次

MEMO

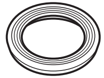
1 お使いになる前に

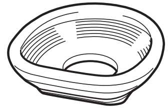
主な同梱品の確認

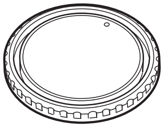
645D には以下の付属品が同梱されています。
カメラをお使いになる前に、付属品に不足がないかお確かめください。

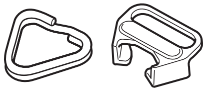

ホットシューカバー FK
（カメラ装着）

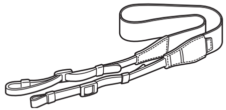

シンクロソケット2Pキャップ
（カメラ装着）

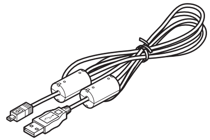

標準アイカップ
（カメラ装着）

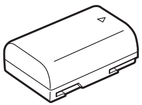

大型アイカップ 645
O-EC107

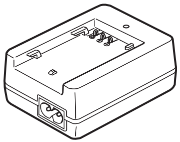

ボディマウントキャップ 645
（カメラ装着）

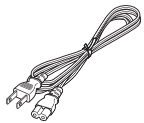

三角環・キズ防止カバー
（カメラ装着）

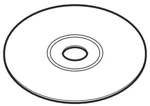

ストラップ
O-ST107


USBケーブル
I-USB107


充電式リチウムイオンバッテリー
D-LI90P


バッテリー充電器
D-BC90P


ACコード
D-CO2J

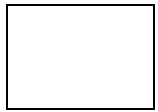

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW107



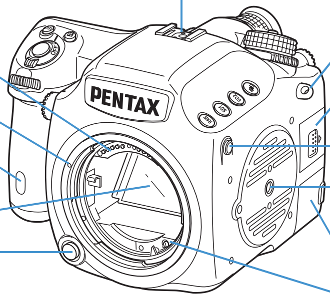
使用説明書（本書）

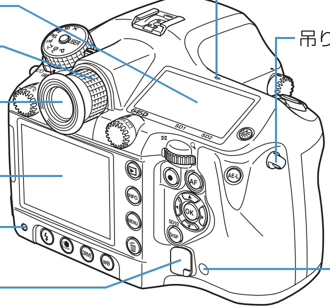


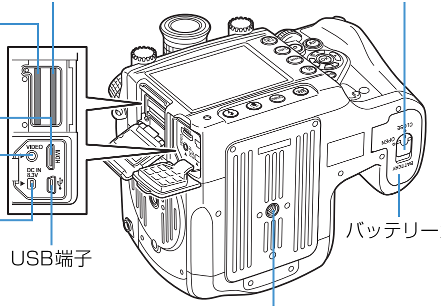
メニューリファレンス


保証書

各部の名称と機能





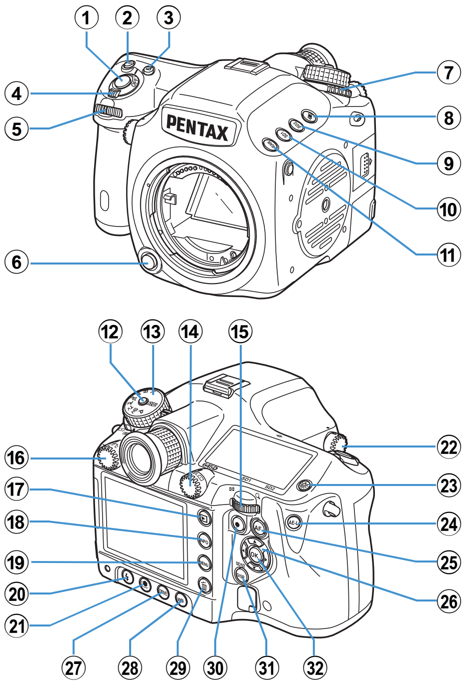


※ 正面・背面の図は、ホットシューカバー FKを外した状態のイラストです。

注意

- 端子カバーが正しく閉まっていないと、防塵・防滴効果が損なわれますのでご注意ください。

ボタン・ダイヤル・レバー



① **シャッターボタン**
画像を撮影します。（p.37）
再生時に半押しすると撮影モードに切り替わります。

② **ISOボタン**
このボタンを押しながら ダイヤルを回してISO感度を設定します。（p.46）

③ **（露出補正）ボタン**
このボタンを押しながら ダイヤルを回して露出補正値を設定します。（p.48）
再生時には拡大表示の倍率を上げます。（p.67）

④ **電源レバー**
電源のON／OFF（p.33）とプレビュー（p.61）をします。

⑤ **（前電子）ダイヤル**
設定値の変更を行います。
再生時には、前後の画像を表示します。
メニューが表示されているときは、メニューのカテゴリーを切り替えます。（p.40）

⑥ **レンズ取り外しボタン**
レンズを取り外すときに押します。

⑦ **測光モード切替レバー**
測光モードを切り替えます。（p.45）

⑧ **（露出ブラケット）ボタン**
露出ブラケット撮影を設定します。（p.56）

⑨ **SD2（SD2画質設定）ボタン**
SD2スロットの保存形式を設定します。（p.42）

⑩ **SD1（SD1画質設定）ボタン**
SD1スロットの保存形式を設定します。（p.42）

⑪ **RAWボタン**
一時的に保存形式を切り替えます。保存形式は、4メニューで設定します。（ p.R19）

⑫ **モードダイヤルロックボタン**
モードダイヤルを回すときに押します。（p.48）

⑬ **モードダイヤル**
露出モードを切り替えます。（p.48）

⑭ **測距点切替ダイヤル**
測距点を設定します。（p.44）

⑮ **（後電子）ダイヤル**
設定値の変更を行います。
再生時には、拡大表示の倍率を変更したり、複数画像を表示します。（p.67、p.68）
メニューが表示されているときは、メニュータブを切り替えます。（p.40）

⑯ **AFモード切替ダイヤル**
オートフォーカス（**AF.S**／**C**）を切り替えます。（p.44）

⑰ **（再生）ボタン**
再生モードに切り替えます。（p.38）もう一度押すと撮影モードに切り替わります。

⑱ **INFOボタン**
コントロールパネルを表示します。（p.16）
再生時には、画像の撮影情報を表示します。（p.17）

⑲ **MENUボタン**
1メニューを表示します。（p.40）続けて▶キーを押すと、他のメニューに切り替わります。再生時は、1メニューを最初に表示します。
メニュー表示時は、選択を取り消したり前の画面に戻します。

⑳ **（ストロボモード）ボタン**
ストロボモードを設定します。（p.58）

㉑ **（カスタムイメージ）ボタン**
カスタムイメージを設定します。（p.62）

㉒ **M.UP（ミラーアップ）ダイヤル**
ミラーアップ撮影を行います。（p.55）

㉓ **（照明）ボタン**
表示パネルを点灯します。（p.22）

㉔ **AE-Lボタン**
露出を記憶します。（p.49）
ホワイトバランス／カスタムイメージ設定時は、プレビュー画像を保存します。（p.50、p.62）

㉕ **AFボタン**
シャッターボタン半押しと同じ動作をしたり、一時的にマニュアルフォーカスにします。（p.44、 p.R31）

㉖ **▲▼◀▶（十字）キー**
コントロールパネルやメニューが表示されているときに、カーソルの位置や項目を変更します。
測距点が**SEL**（セレクト）に設定されているときは、測距点を移動します。（p.45）
再生時に▼キーを押すと、再生モードパレットを表示します。（p.66）

㉗ **DRIVEボタン**
ドライブモードを設定します。（p.53）

㉘ **WB（ホワイトバランス）ボタン**
ホワイトバランスを設定します。（p.50）

㉙ **（消去）ボタン**
再生時に画像を消去します。（p.67）

㉚ **（グリーン）ボタン**
露出を自動露出にしたり、設定値をリセットします。

㉛ **DISPボタン**
ステータススクリーンを表示／非表示します。（p.15）
再生時には、再生するSDメモリーカードを切り替えます。（p.66）

㉜ **OKボタン**
コントロールパネルやメニューが表示されているときに、選択した項目を決定します。
測距点が**SEL**（セレクト）に設定されているときは、測距点を中央に戻します。（p.45）

ボタンとダイヤルの操作

と、となどボタンと電子ダイヤルの両方を操作して設定を変更する場合、次のどちらの方法でも操作できます。

操作	設定値の確定
ボタンを押しながらダイヤルを回す	ボタンから指を離す
ボタンを1回押して指を離してからダイヤルを回す	ボタンをもう一度押す、または測光タイマーオフ

本書では以降、「ボタンを押しながらダイヤルを回す」操作で表記します。

撮影情報の表示

画像モニター

カメラの状態によって画像モニターに様々な情報が表示されます。

メモ

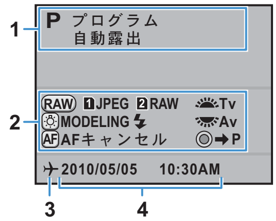
- 画像モニターの表示は、2メニューの「LCDの明るさ」「LCD色調整」で調整できます。（p.R24～p.R25）

電源ON時／モードダイヤル操作時

電源を入れたとき、またはモードダイヤルを回したときに、画像モニターにガイドが3秒間（初期設定）表示されます。

メモ

- 1メニューの「ガイド表示」で、表示をオフに設定することもできます。（p.R24）



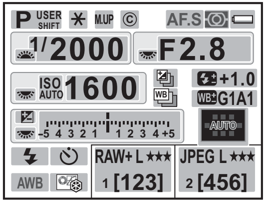
1　露出モード（p.47）
2　操作ガイド
3　ワールドタイム
4　現在の日時（p.35）

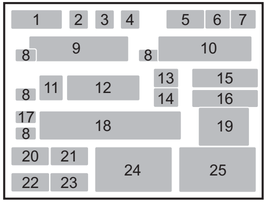
※ 3は🔧1メニューの「ワールドタイム」を「目的地」に設定しているときだけ表示されます。（📖 p.R23）

撮影時

● ステータススクリーン

DISP ボタンを押すと表示され、撮影機能の設定内容が確認できます。
（説明のため全項目を表示しています。実際に表示される画面とは異なります。）





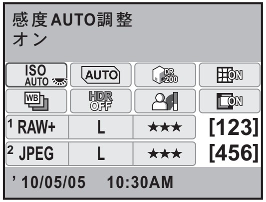
1　露出モード（p.47）
2　AEロック（p.49）
3　ミラーアップ（p.55）
4　著作権情報添付（📖 p.R27）
5　AFモード（p.44）
6　測光モード（p.45）
7　バッテリー残量（p.29）
8　電子ダイヤル操作ガイド
9　シャッター速度
10　絞り値
11　ISO／ISO AUTO
12　ISO感度（p.46）
13　露出ブラケット（p.56）／多重露出（p.55）／HDR撮影（📖 p.R16）
14　拡張ブラケット（p.57）
15　ストロボ光量補正（p.59）
16　ホワイトバランス微調整（p.51）
17　露出補正（p.48）
18　露出バー
19　測距点（p.44）
20　ストロボモード（p.58）
21　ドライブモード（p.53）
22　ホワイトバランス（p.50）
23　カスタムイメージ（p.62）
24　SD1スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質／撮影可能枚数（p.42）
25　SD2スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質／撮影可能枚数（p.42）

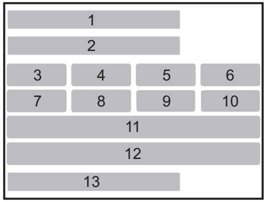
メモ

- ステータススクリーンは **DISP** ボタンを押してから何も操作しないと、30秒で消灯します。
- 📷3メニューの「ステータススクリーン」で、画面の配色が変更できます。（📖 p.R18）

● **コントロールパネル**

INFOボタンを押すと表示され、設定を変更することができます。





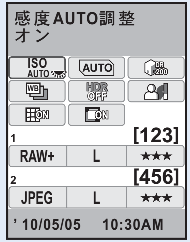
1 機能名称
2 設定値
3 ISO感度AUTO調整
4 プログラムライン
5 ハイライト補正
6 ディストーション補正
7 拡張ブラケット
8 HDR撮影
9 シャドー補正
10 倍率色収差補正
11 SD1スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質／撮影可能枚数
12 SD2スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質／撮影可能枚数
13 現在の日時

メモ

• カメラの設定状況によって変更できない項目は選択できません。

縦位置のとき

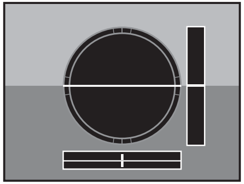
測光タイマー作動中に縦位置にすると、ステータススクリーン／コントロールパネルの表示も縦になり、▲▼◀▶キーの移動方向も変わります。



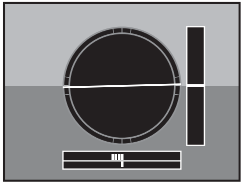
● **電子水準器表示**

ステータススクリーン表示中に**DISP**ボタンを押すと表示されます。下側に左右方向、右側に上下方向の傾きが表示されます。

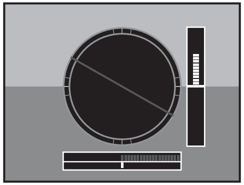
表示例



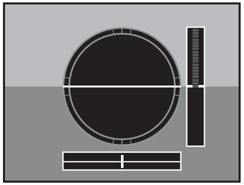
左右・上下傾きなし（緑）



左1.5°（黄）
上下傾きなし（緑）



左右指標表示外（赤）
上5°（黄）



左右傾きなし（緑）
上下指標表示外（赤）

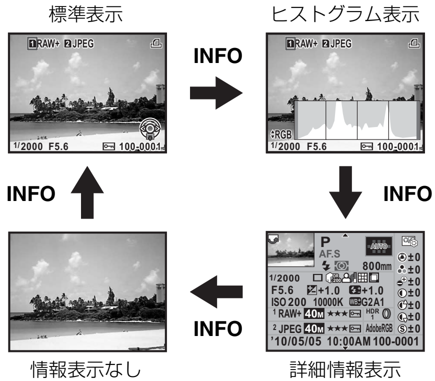
メモ

- 電子水準器は何も操作しないと、1分で消灯します。
- 傾きが検出できないときは、バーグラフの両端・中央が赤で点滅します。
- 3メニューの「電子水準器表示」で、表示の設定ができます。（p.R19）

再生時

画像再生時に**INFO**ボタンを押すと、表示情報が切り替わります。

標準表示	画像と操作ガイドを表示
ヒストグラム表示	画像とヒストグラム（輝度／RGB）を表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示
情報表示なし	画像のみを表示



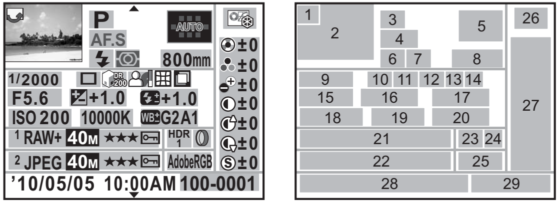
メモ

- **DISP**ボタン／**SD1**ボタン／**SD2**ボタンで、再生するSDメモリーカードが切り替えられます。
- 再生時に最初に表示される情報は、前回最後に表示した画面です。4メニューの「モードメモリ」の設定によって、表示される画面が異なります。（p.R20）
- 1メニューの「再生時の表示方法」で、白とび黒つぶれ警告を表示するかどうか設定できます。（p.R22）

● **詳細情報表示**

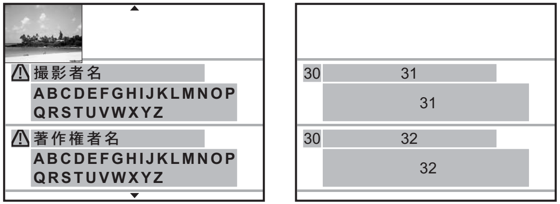
▲▼キーでページを切り替えます。

1ページ目



▼ ▲

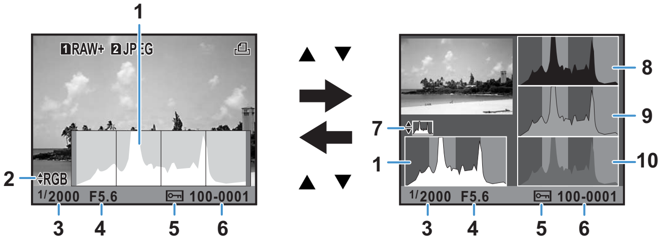
2ページ目



1 回転情報
2 撮影画像
3 露出モード
4 フォーカスモード
5 測距点
6 ストロボモード
7 測光モード
8 レンズ焦点距離
9 シャッター速度
10 ドライブモード
11 ハイライト補正
12 シャドー補正
13 ディストーション補正
14 倍率色収差補正
15 絞り値
16 露出補正
17 ストロボ光量補正
18 ISO感度
19 ホワイトバランス
20 ホワイトバランス微調整
21 SD1スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質／プロテクト
22 SD2スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質／プロテクト
23 HDR撮影／多重露出
24 デジタルフィルター
25 色空間
26 画像仕上
27 カスタムイメージパラメーター
28 撮影日時
29 フォルダー No.-ファイルNo.
30 情報改ざん警告
31 撮影者名
32 著作権者名

● ヒストグラム表示

画像再生時に、輝度ヒストグラム／RGBヒストグラムが表示できます。▲▼キーで切り替えます。

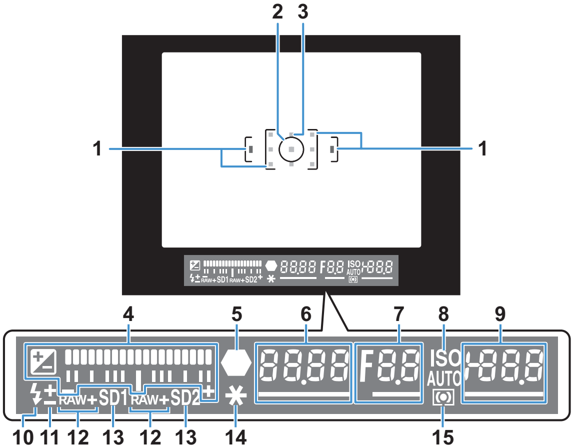


輝度ヒストグラム　　RGBヒストグラム

1 輝度ヒストグラム
2 色空間
3 シャッター速度
4 絞り値
5 プロテクト
6 フォルダー No.-ファイルNo.
7 輝度ヒストグラム／RGBヒストグラム切り替え
8 Rヒストグラム
9 Gヒストグラム
10 Bヒストグラム

ファインダー／表示パネル

ファインダー



1　AFフレーム
2　スポット測光フレーム（p.45）
3　測距点（p.44）
4　露出バー
　露出補正値、または露出モードM／X時の適正露出値との差を表示
　電子水準器表示オン時：カメラの傾きを表示
5　合焦マーク
　点灯：合焦
　点滅：AF非合焦
6　シャッター速度
　アンダーライン点灯：調整可能
7　絞り値
　アンダーライン点灯：調整可能
8　ISO／ISO AUTO
　点灯：ISO感度表示中
9　ISO感度
　アンダーライン点灯：調整可能
　撮影直後：撮影可能枚数（最大表示「999」）
　電子水準器表示オン時：露出モードM時の適正露出値との差を表示
10　ストロボ発光
　点灯：発光可能
　点滅：ストロボ推奨、または充電中
11　ストロボ光量補正（p.59）
12　記録形式（p.42）
　点灯：RAW／RAW+
　消灯：JPEG
13　SD1／SD2スロット（p.42）
　点灯：記録可
　消灯：OFFまたはRESERVE
14　AEロック（p.49）
15　測光モード（p.45）

メモ

- シャッターボタンを半押しにすると、測距点が赤点灯（スーパーインポーズ）します。

● 露出バー

露出モードが**M**／**X**時は、適正露出値との差が表示されます。露出バーの表示限界を超えた場合は、＋／－が点滅します。



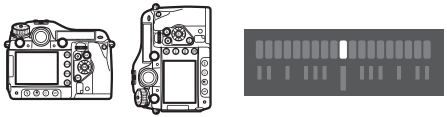
● 露出警告

適正露出でない値を設定すると、その値が点滅します。



● 電子水準器表示

📷3メニューで「電子水準器表示」をオンに設定すると、カメラの傾きを表示します。（📖 p.R19）



水平時（傾き0°）

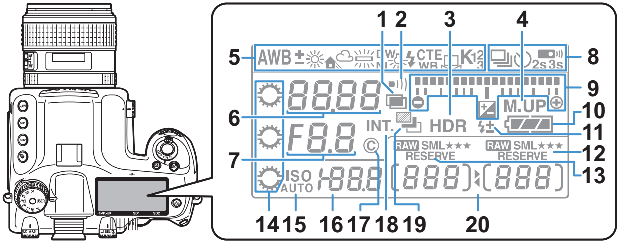


左下がりに5°傾いているとき



縦位置に構えて右下がりに3°傾いているとき

表示パネル



1 多重露出
2 電子音
点灯：電子音オン
（ p.R24）
3 HDR撮影（ p.R16）
4 ミラーアップ
5 ホワイトバランス（p.50）
6 シャッター速度
7 絞り値
8 ドライブモード（p.53）
□：1コマ撮影
⧉：連続撮影
⏲：セルフタイマー撮影
▭))：リモコン撮影
9 露出バー／電子水準器表示／露出補正（p.48）
10 バッテリー残量（p.29）
11 ストロボ光量補正（p.59）
12 SD2スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質（p.42）
RAW：RAW
RAW+：RAW+JPEG
13 SD1スロット記録形式／JPEG記録サイズ／JPEG画質（p.42）
14 電子ダイヤル
点灯：調整可能
15 ISO／ISO AUTO
点灯：ISO感度表示中
16 ISO感度／露出補正値
17 著作権情報添付（ p.R27）
18 インターバル撮影（p.54）
19 ブラケット撮影
点滅：拡張ブラケット併用時
20 撮影可能枚数／USB接続モード（ p.R25）／センサークリーニング（ p.R29）
Pc-S：MSCモード
Pc-P：PTPモード
Cln：センサークリーニング中

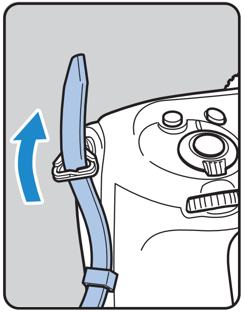
メモ

- ☼ボタンを押すと、表示パネルのバックライトが点灯します。

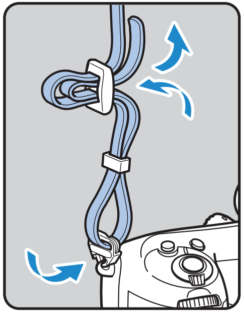
2 準備編

ストラップの取り付け

1 ストラップの先端を三角環に通す



2 ストラップの先端を留め具の内側に固定する

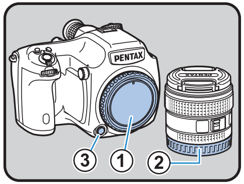


レンズの取り付け

1 電源がOFFになっていることを確認する

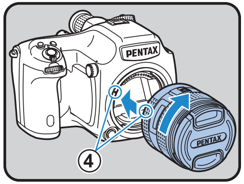
2 ボディマウントキャップ①とレンズマウントキャップ②を取り外す

レンズ取り外しボタン③を押しながら、ボディマウントキャップを外します。

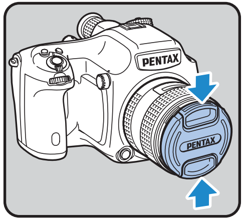


3 カメラとレンズのマウント指標（赤点、④）を合わせ、レンズを右に回す

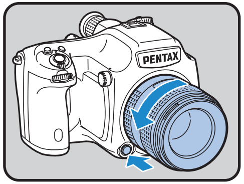
このときレンズ取り外しボタンは押さないでください。



4 図の矢印部分を押してレンズキャップを取り外す



レンズを取り外すときは、レンズ取り外しボタンを押しながらレンズを左へ回します。



レンズ適応表

D FA645レンズ（デジタル専用）を使用した場合、645Dのすべての機能が使用できます。弊社製フィルム中判カメラ用レンズを使用した場合は、以下の制限があります。

レンズ	A645	FA645	A／FA645	A／FA645	67
アクセサリー／機能	レンズ単体使用		+リアコンバーター A +オート接写リングA	+ヘリコイド接写リング *1	+67レンズ用アダプター 645
P／Sv／Tv／TAvモード	○	○	○	×	×
Av／Mモード	○	○	○	○ *2	○
プログラムP-TTLオートストロボ撮影	○	○	○	×	×
P-TTLオートストロボ撮影	○	○	○	○	○
AF540FGZ／AF500FTZ／AF360FGZ／AF330FTZ使用時の自動照射角変化	×	○	×	×	×
絞り**A**位置でのファインダー内絞り値表示 絞り**A**位置以外でのファインダー内絞り値目安表示*8	○	○	△ *3	×	×
AF	×	○	×	×	×
MF時のファインダー内合焦表示 *4	○ *5	○ *6	○	○ *5	○ *5
測光モード切替	○	○	○	△ *7	△ *7
レンズ補正機能	×	○	×	×	×

*1 ヘリコイド接写リングと情報接点のないアクセサリーはこの項目に適用
*2 絞込み測光
*3 オート接写リングA／リアコンバーター A645 2X使用時は、レンズの絞り値を表示
リアコンバーター A645 1.4X使用時は、A*645 300mm F4／FA*645 300mm F4以外のレンズとの組み合わせで表示内容に差異が生じる
[レンズの絞り値をそのまま表示]
FA645 300mm F5.6／FA645 400mm F5.6／A*645 600mm F5.6
[レンズとの合成絞り値を表示]
A645 200mm F4／FA645 200mm F4／A*645 300mm F4／FA*645 300mm F4／A645マクロ120mm F4／FA645マクロ120mmF4
[2絞り絞った値を表示]
FA645 150mm F2.8
*4 レンズ単体またはアクセサリーと組み合わせたときの合成換算絞り値がF5.6より明るい場合のみ
*5 A645マクロ120mm F4は、等倍～1/2倍での作動は不確実
AFエリアの設定がオート／セレクトになっている場合も、合焦表示はスポットAF
*6 AF エリアの設定がオート／セレクトになっている場合も、合焦表示も3点AF
*7 分割測光を選択しても中央重点測光で動作
*8 レンズによっては、絞りリングの値とファインダー内の表示が一致しない場合あり

注意

- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

LSレンズのレンズシャッター利用について

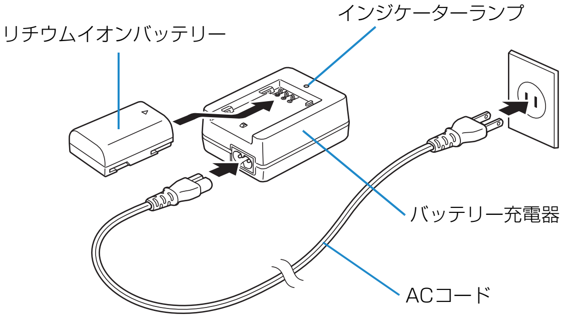
PENTAX 645LSレンズはレンズ内にシャッターを搭載しており、ハイスピードシンクロ撮影などを行うことができます。
レンズシャッターを使用するにはレンズのシャッター速度リングをLSに切り替えますが、次のような使用制限がありますので、ご注意ください。

- カメラの露出モードに関係なく**M**モードに切り替わります。
  - 適正露出との差分は表示されません。
  - カメラのシャッター速度は、LSと表示されます。
  - ⦿ボタンを押しても、適正露出にシフトしません。
- 露出補正はできません。
  - 露出補正中にLSに切り替えると、露出補正は解除されます。
- AEロックは使用できません。
  - AEロック中にLSに切り替えると、AEロックは解除されます。
- ドライブモードの連続撮影／セルフタイマー2秒／リモコン3秒／リモコン連続撮影は使用できません。
  - 連続撮影／セルフタイマー2秒設定中にLSに切り替えると、1コマ撮影に切り替わります。
  - リモコン3秒／リモコン連続撮影を設定中にLSに切り替えると、リモコン即レリーズに切り替わります。
- ミラーアップ撮影はできません。
  - ミラーアップ中にLSに切り替えると、ミラーダウンします。
  - LS使用中にミラーアップダイヤルが**M.UP**になっていると、シャッターが切れません。
- 光学プレビューは使用できません。
  - 事前にレンズシャッターをチャージすると、デジタルプレビューが使用できます。（ホワイトバランス／カスタムイメージでの画像取得も同様）
- インターバル撮影／露出ブラケット／HDR撮影は使用できません。
  - 露出ブラケット／HDR撮影を設定してLSに切り替えると、設定が解除されます。
  - インターバル撮影中にLSに切り替えると、撮影は終了します。
- 多重露出は撮影ごとに手動でレンズシャッターのチャージが必要です。
- 外付けストロボをホットシューに接続しても発光しません。必ずレンズ側のシンクロターミナルを使用してください。
- 外付けストロボをカメラ側のXシンクロソケットに接続しても同調しません。
- ストロボモードの設定は、LS撮影に反映されません。

バッテリーのセット

バッテリーは専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P を使用します。

バッテリーの充電



1 **充電器にACコードを接続する**

2 **ACコードをコンセントに差し込む**

3 **バッテリーを ▲ マークがある面を上にして充電器にセットする**

充電中はインジケーターランプが点灯し、充電が完了するとインジケーターランプが消灯します。

4 **充電器からバッテリーを取り外す**

注意

- 付属のバッテリー充電器では、専用バッテリーD-LI90P以外は充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しくセットしてもインジケーターランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。

メモ

- 充電時間は、最大で約320分です。周囲の温度が0～40℃の範囲で充電してください。
- 使用時間が短くなったらバッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

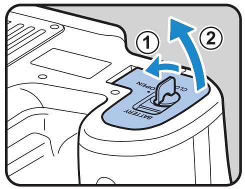
バッテリーのセット

注意

- 電源が入っているときにバッテリーカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- 長期間使わないときは、バッテリーを取り出しておいてください。入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れをすることがあります。
- 長時間バッテリーを取り外していると、日時がリセットされることがあります。

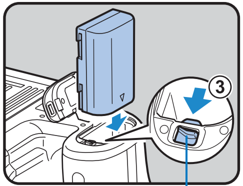
1 **バッテリーカバーを開ける**

バッテリーカバー開放ノブをつまみ上げ、OPENの方向に回して（①）ロックを外してバッテリーカバーを引き上げます（②）。



2 バッテリーの ▲ マークをカメラの外側に向け、バッテリーロックレバーを矢印③の方向に押しながら挿入する

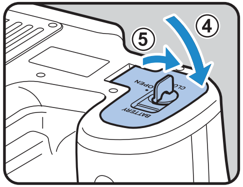
バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックレバーを矢印③の方向に手で押します。



バッテリーロックレバー

3 バッテリーカバーを閉じ（④）、バッテリーカバー開放ノブをCLOSEの方向に回してロックする（⑤）

バッテリーカバー開放ノブを収納してください。



メモ

- 長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC50J（別売）をご使用ください。（p.30）

バッテリー容量の確認

ステータススクリーン／表示パネルで、バッテリー残量が確認できます。

ステータススクリーン	表示パネル	バッテリーの状態
（緑）		満充電
（緑）		1/3減少
（黄）		2/3減少
（赤）	点灯	ほとんどなし
「電池容量がなくなりました」	点滅	メッセージ表示後、電源OFF（表示パネルは点滅継続）

メモ

- 低温下や連続撮影を続けた場合、容量が正しく表示されないことがあります。
- 低温下ではバッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- ACアダプター使用中は、バッテリー残量は表示されません。

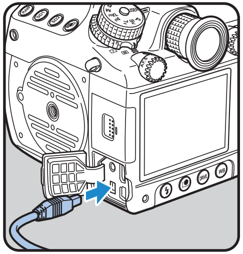
ACアダプター（別売）の使用

画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と接続するときは、ACアダプターキットK-AC50J（別売）のご使用をお勧めします。

1 **電源がOFFになっていることを確認する**

2 **端子カバーを開ける**

3 **AC アダプターのDC 端子の▲印をカメラの▲印のある方向に向け、DC入力端子に接続する**



4 **ACコードをACアダプターに接続し、電源プラグをコンセントに差し込む**

メモ

- AC アダプターの接続／取り外し時は、必ずカメラの電源を OFF にしてください。
- 各端子はしっかり差し込んでください。SD メモリーカードへのアクセス中に接続部が外れると、SDメモリーカードやデータが破損する恐れがあります。
- ACアダプターを接続しても、カメラ内のバッテリーを充電することはできません。
- ACアダプター使用の際は、ACアダプターキットK-AC50Jの使用説明書を併せて参照してください。

SDメモリーカードのセット

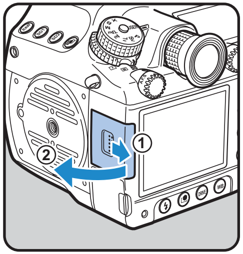
このカメラでは、市販のSDメモリーカード／SDHCメモリーカード（以下「SDメモリーカード」と表記）が1枚または2枚装着できます。高速・大容量のSDメモリーカードを用意してください。

注意

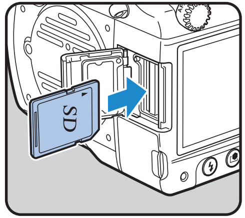
- SDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット（初期化）してから使用してください。（☞「SDメモリーカードのフォーマット」p.36）

1 電源がOFFになっていることを確認する

2 カードカバーを矢印の方向にスライド（①）させてから開く（②）



3 SDメモリーカードのラベル面を画像モニター側に向け、SD1／SD2スロットの奥まで差し込む



SD1／SD2スロットの両方または片方にSDメモリーカードをセットします。

SDメモリーカードを取り出すときは、カードをさらに押し込みます。

4 カードカバーを閉じ、①と逆方向にスライドさせる

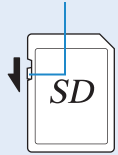
注意

- カードカバーは完全に閉じてください。カードカバーが開いていると電源が入りません。
- カードアクセスランプの点灯中は、電源を切ったりSDメモリーカードを取り出さないでください。

メモ

- SD1／SD2スロットへの保存方法については、「ファイル形式・保存方法の設定」（p.42）を参照してください。

SDメモリーカード使用上の注意

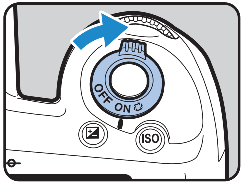


- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- カメラを使用した直後に SD メモリーカードを取り出すと、熱くなっている場合があります。
- SD メモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SD メモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SD メモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SD メモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  （1）使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  （2）SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  （3）長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
  （4）SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。
- SD メモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用した SD メモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。（☞「SDメモリーカードのフォーマット」p.36）
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊する、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- SD メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

電源

1 **電源レバーを「ON」に合わせる**

電源が入ります。
電源レバーを「OFF」に合わせると電源が切れます。



メモ

- カメラを使用しないときは、必ず電源を切ってください。
- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます(オートパワーオフ)。電源をONにするには、電源を入れ直すか、次の操作をしてください。
  - シャッターボタン半押し
  - ▶ボタン/**MENU**ボタン/**INFO**ボタンのいずれかを押す
- オートパワーオフの初期設定は1分です。🔧3メニューの「オートパワーオフ」で変更できます。(📖 p.R27)

2
準備編

初期設定

2 準備編

言語設定

工場出荷後に初めて電源を入れると、画像モニターに「Language/言語」画面が表示されます。以下の手順に従って、表示言語と現在日時を設定してください。

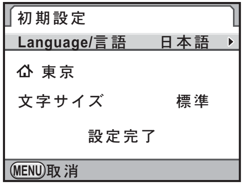
1 ▲▼◀▶キーで言語を選択し、OKボタンを押す

選択した言語の「初期設定」画面が表示されます。



2 ▼キーを押す

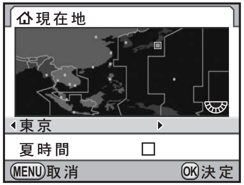
カーソルが⌂(現在地)に移動します。現在地が正しい場合は、p.34の手順7に進んでください。



3 ▶キーを押す。

「⌂ 現在地」画面が表示されます。

4 ◀▶キーで現在地を選択する



5 ▼キーを押す

カーソルが「夏時間」に移動します。

6 ◀▶キーで☑／□を設定し、OKボタンを押す

「初期設定」画面に戻ります。

7 ▼キーを押す

カーソルが「文字サイズ」に移動します。

8 ▶キーを押し、▲▼キーで標準／大きいを選択し、OKボタンを押す

「大きい」を選ぶと、選択しているメニュー項目が拡大して表示されます。



9 ▼キーを押して「設定完了」を選択し、OKボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。

メモ

- 現在地／目的地として設定できるのは75都市です。(📖 p.R23)
- 本書では、以降のメニュー画面は「文字サイズ」を「標準」に設定して説明します。
- 言語／現在地／文字サイズの設定を変更するときは、🔧1メニューで設定します。(📖 p.R23)

日時設定

1 「日時設定」画面で▶キーを押し、▲▼キーで日付の表示スタイルを選択する

年/月/日／月/日/年／日/月/年から選択します。



2 ▶キーを押し、▲▼キーで24h／12hを選択する

3 ▶キーを押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

4 ▼キーを押し、▶キーを押す

選択枠が西暦年に移動します。

5 同様に西暦年／月／日を設定する

6 同様に時刻を設定する

手順2で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

7 「設定完了」を選択し、OKボタンを押す

ステータススクリーンが表示され、撮影モードになります。
秒数は0秒にセットされます。

メモ

- 設定の途中で**MENU**ボタンを押すと、設定内容がキャンセルされて撮影モードになります。次回電源を入れると、「初期設定」画面または「日時設定」画面が表示されます。
- 日時の設定を変更するときは、🔧1メニューで設定します。（📖 p.R23）

SDメモリーカードのフォーマット

SDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット（初期化）してから使用してください。

注意

- フォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像も含めてSDメモリーカードのデータがすべて消去されます。

1 MENUボタンを押す

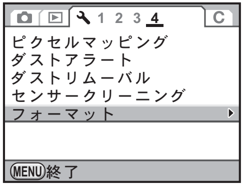
1メニューが表示されます。



2 ダイヤルを回して4メニューを選択する

3 ▲▼キーで「フォーマット」を選択し、▶キーを押す

「フォーマット」画面が表示されます。



4 ▲▼ キーでフォーマットするカードを選択し、OKボタンを押す

片方のカードがロックされている場合、または挿入されていない場合は選択できません。

5 ▲ キーで「フォーマット」を選択し、OKボタンを押す



フォーマットが開始されます。

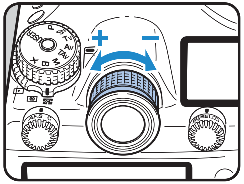
フォーマットが終わると、撮影モードに戻ります。

視度調整

視度は、約−3.5〜+2.0m-1の範囲で調整できます。

1 **ファインダーで確認しながら視度調整リングを回す**

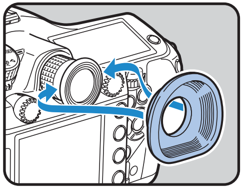
右に回すと−側、左に回すと+側に調整されます。



大型アイカップの取り付け

必要に応じて大型アイカップ645 O-EC107を取り付けます。

1 **大型アイカップの端を少し引っ張りながら、標準アイカップにかぶせるようにして取り付ける**



動作確認

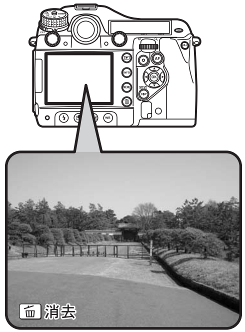
撮影する

実際に撮影して動作確認をしてください。

1 **ファインダーで被写体を確認し、シャッターボタンを押す**

撮影されます。

撮影直後には、画像モニターに画像が1秒間（初期設定）表示されます（クイックビュー）。



クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

ダイヤル	拡大表示（p.67）
🗑ボタン	画像消去（p.67）

メモ

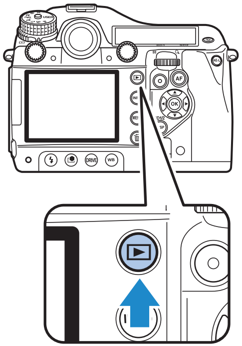
- クイックビューの表示の設定は、📷3メニューで設定します。（📖 p.R18）

画像を確認する

撮影した画像を再生します。

1 ▶ボタンを押す

再生モードになり、最後に撮影した画像（ファイルNo.が一番大きい画像）が画像モニターに表示されます。
INFO ボタンを押すと、画像の撮影情報などの表示が切り替わります。（p.17）



2 画像を確認する

ボタン・ダイヤル等の操作

◀キー／ダイヤル左	前の画像を表示
▶キー／ダイヤル右	次の画像を表示
DISP ボタン／**SD1**ボタン／**SD2** ボタン	SDメモリーカードの切り替え

メモ

- 再生機能の詳細は、「再生・加工編」（p.65）を参照してください。
- パソコンで再生するには、付属のソフトウェア「PENTAX Digital Camera Utility 4」等を使用してください。（☞「パソコン利用編」p.81）

機能の設定方法

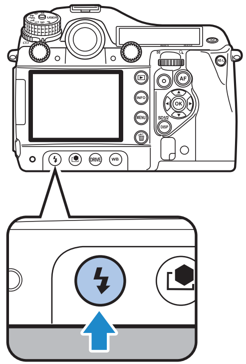
機能は、ダイレクトキー／コントロールパネル／メニューのいずれかで設定します。コントロールパネルとメニューの両方で設定できる機能もあります。
ここでは、基本的な機能の設定方法を説明します。

ダイレクトキーで設定する

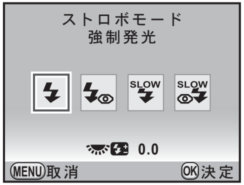
撮影モードでキーを押すと、直接機能が設定できます。
ここではストロボモードを設定する場合を例に説明します。

1 撮影モードで⚡ボタンを押す

「ストロボモード」画面が表示されます。



2 ◀▶ キーでストロボモードを選択する



3 OKボタンを押す

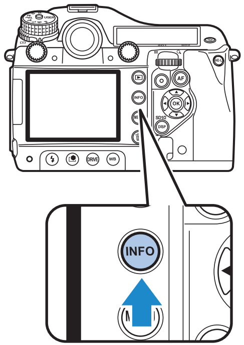
撮影モードになります。

コントロールパネルで設定する

ここではプログラムラインを設定する場合を例に説明します。

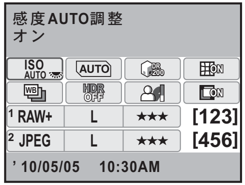
1 撮影モードで INFO ボタンを押す

コントロールパネルが表示されます。



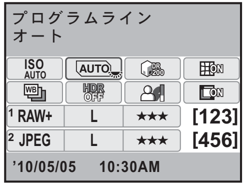
2 ▲▼◀▶ キーで変更する項目を選択する

変更できない項目は選択できません。



3 ／ ダイヤルで設定を変更する

OKボタンを押すと、選択した項目の詳細設定画面が表示されます。拡張ブラケットなどは詳細設定画面で設定値などを設定します。



4 INFOボタンを押す

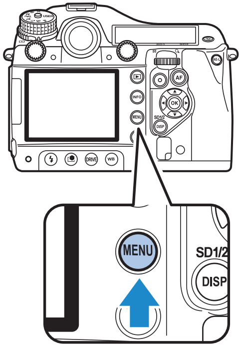
撮影モードになります。

メニューで設定する

撮影／再生／詳細設定／Cカスタムメニューの操作方法を説明します。
ここでは2メニューの「プログラムライン」を設定する場合を例に説明します。

1 撮影モードで MENU ボタンを押す

画像モニターに1メニューが表示されます。
再生モードで**MENU**ボタンを押すと1メニューが最初に表示されます。



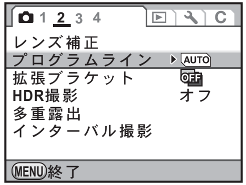
2 ▶ キーを押すか、 ダイヤルを右（Q）に回す

1回押すごとに2→3→4→1・・・と切り替わります。
ダイヤルを右に回すと、1→1→1→C1とカテゴリーが切り替わります。



3 ▲▼ キーで項目を選択し、▶ キーを押す

設定できる項目が表示されます。
ポップアップがあるときは、ポップアップに移行します。



4 ▲▼キーで設定を選択し、OK ボタンを押す

メニュー画面に戻ります。続けて他の項目を設定できます。
MENUボタンを押すと、メニュー選択前の画面に戻ります。



注意

- 電源を入れたままバッテリーを取り出したりするなど誤った操作で電源を切ると、設定が保存されない場合があります。

メモ

- 各メニューの詳細については、『メニューリファレンス』を参照してください。
  - 撮影メニュー p.R13
  - 再生メニュー p.R22
  - 詳細設定メニュー p.R23
  - Cカスタムメニュー p.R30

3 撮影編

ファイル形式・保存方法の設定

撮影前に画像のファイル形式・記録サイズ・画質と、SDメモリーカードへの保存方法を設定します。

記録形式

SD1／SD2スロットへの保存方法と記録形式を設定します。セットしたSDメモリーカードの枚数にかかわらず、両方のスロットにそれぞれ以下の設定を行います。JPEG／RAWを振り分けて保存したり、バックアップとして同一形式で2枚同時に記録するなどの使い方ができます。

JPEG	JPEG形式で記録（初期設定） JPEGを選択した場合は、次項のJPEG記録サイズ／画質も設定する
RAW	RAW形式で記録 撮影後、RAW展開（p.72）または付属ソフトウェア「PENTAX Digital Camera Utility 4」等を使用して展開処理を行う（p.84）
RAW+	RAW・JPEGの両形式を1枚のカードに同時保存
RESERVE	片方のSDメモリーカードの空き容量がなくなると、同一形式で保存を引き継ぐ RESERVEを設定していないスロットの空き容量がなくなるか、SD　メモリーカードが取り出されると、RESERVE側の保存が開始される
OFF	不使用 SDメモリーカードを1枚しか使用しない場合は、使用しないスロットにこの設定を行う

設定例

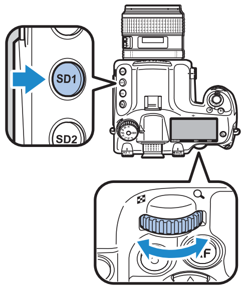
SD1	SD2	保存結果
JPEG	JPEG	同一形式でSD1／SD2に保存（バックアップ
JPEG	RAW	JPEG／RAWをSD1／SD2に振り分けて保存
JPEG	RAW+	SD1はJPEG、SD2にはRAW･JPEGを同時保存 SD1／SD2のJPEGの記録サイズ・画質の設定は同一
JPEG	RESERVE	SD1の空き容量がなくなったら同一形式でSD2に保存開始 SD1に新しいカードをセットした場合は、SD2の空き容量がなくなった時点でSD1に移行
JPEG	OFF	SD2不使用

メモ

- RESERVE／OFFは1スロットのみに設定できます。
- RAW のファイル形式については、📷4 メニューで設定します。（📖 p.R19）
- **RAW** ボタンを押したときだけ一時的に記録形式を変更することもできます。📷4メニューの「RAWボタン」で設定します。（📖 p.R19）

1 **SD1 ボタンを押しながら ダイヤルを回す**

JPEG→RAW→RAW+→RESERVE→OFF→JPEG・・・の順に切り替わります。



2 **SD2ボタンを押しながら ダイヤルを回す**

同様に設定します。

注意

- SD メモリーカードの空き容量がなくなって保存が続行できなくなった場合は、エラーメッセージが表示され、シャッターがロックされます。
- 両方のスロットにJPEG／RAW+を設定した場合、JPEGの記録サイズ／画質は両スロットとも同じ設定になります。

メモ

- 各スロットへの保存状態は、ステータススクリーン（p.15）／ファインダー内（p.20）／表示パネル（p.22）で確認できます。

JPEG記録サイズ／画質

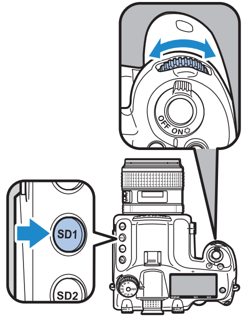
記録形式をJPEGに設定した場合の記録サイズと画質（★★★スーパーファイン／★★ファイン／★エコノミー）を設定します。記録形式がRAWの場合は、この設定は不要です。

設定	記録サイズ	画素数
L	40M	7264×5440
M	32M	6528×4896
	21M	5376×4032
S	13M	4224×3168
	7M	3072×2304

M／**S**のときにどちらの記録サイズで保存するかは、**C**5メニューの「35. サイズM、Sの画素数」で設定します。（p.R35）

1 SD1 ／ SD2 ボタンを押しながらダイヤルを回す

L★★★（初期設定）→**L★★**→**L★**→**M★★★**→**M★★**→**M★**→**S★★★**→**S★★**→**S★**→**L ★★★**の順に切り替わります。



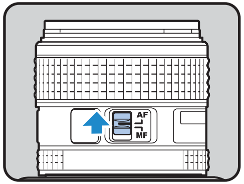
メモ

- 記録形式を両スロットとも JPEG ／ RAW+ に設定したときは、**SD1**／**SD2** ボタンのどちらかで設定すれば両スロットとも同じ設定になります。

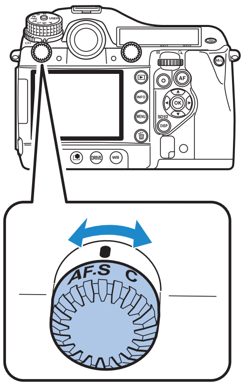
フォーカス

フォーカスモードの選択

1 **レンズでAF／MFを切り替える**



2 **カメラの AF モード切替ダイヤルでAFモードを切り替える**



AF.S オートフォーカス・シングルモード	ピントが合うと、その位置にフォーカスロックする
C（**AF.C**） オートフォーカス・コンティニュアスモード	被写体に合わせて常にピントを調整する。ピントが合っていなくても、シャッターがきれる フォーカス中にカメラが被写体を動体と判断すると、自動的に動体予測に切り替わる

メモ

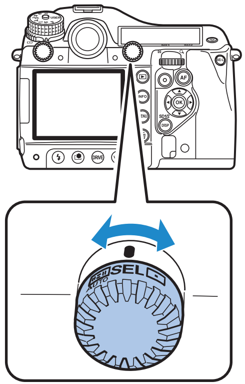
- **AF** ボタンでシャッターボタン半押しと同様にピント合わせができます。また**C**2メニューの「13. AFボタンの機能」で**AF**ボタンの機能を「AFキャンセル」に設定することもできます。（📖 p.R31）
- AFのピント位置は**C**5メニューの「33. AF微調整」で調整できます。（📖 p.R35）

測距点切替

AUTO	オート	自動的にファインダー内の最適な位置にピントを合わせる
SEL	セレクト	AFフレーム内の測距点から任意の位置にピントを合わせる
[·]	中央	中央に合わせる

1 **測距点切替ダイヤルを回す**

選択された測距点は、ファインダー内で赤点灯（スーパーインポーズ）します。



2 SELの場合は、▲▼◀▶キーで測距点を選択する

OKボタンを押すと、中央に戻ります。

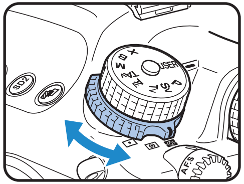
メモ

- スーパーインポーズをオフにするときは **C**3 メニューの「15. スーパーインポーズ」で設定します。（p.R32）
- **SEL**の測距点の数は11点（初期設定）／5点／3点が選択できます。**C**3メニューの「16. 測距点数」で設定します。（p.R32）
- **SEL**で移動した測距点は、電源を切ったり⊡／AUTOに変更しても記憶されています。
- 次の操作を行うと、測距点が移動できる状態（手順2の状態）は解除されます。
  - 電源レバーをOFFにする
  - 測距点切替ダイヤルを回す
  - モードダイヤルを回す
  - ▶ボタン／**MENU**ボタンのどちらかを押す
- A645マウントレンズまたは中間リングなどのアクセサリーを使用したときは、常に⊡で動作します。

露出設定

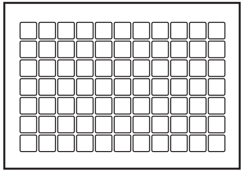
測光モードの選択

1 測光モード切替レバーを回す



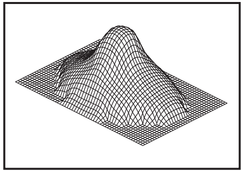
ステータススクリーン／ファインダー内に設定した測光モードが表示されます。

分割測光



ファインダーを77に分割して明るさを測定する

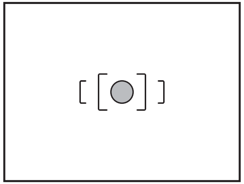
中央重点測光



ファインダー中央に重点を置いて測光する

中央部分ほど感度が高く、逆光でも自動補正されない

スポット測光



ファインダー中央の限られた範囲だけを測光する

メモ

- 分割測光時に露出値と AF エリア内の測距点を関連付けることができます。**C**1メニューの「6. 測距点と露出の関連付」で設定します。（p.R30）

測光タイマー

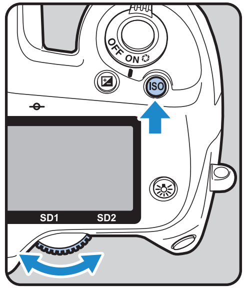
測光タイマーの作動時間は、**C**1メニューの「4. 測光作動時間」で設定します。（p.R30）

ISO感度の設定

ISO感度はAUTO（初期設定）またはISO 200～1000相当の間で設定できます。

1 ISO ボタンを押しながらダイヤルを回す

ISO ボタンを押しながら◉ボタンを押すと、AUTOに戻ります。



メモ

- ISO AUTOの自動調整範囲は、コントロールパネルまたは📷1メニューの「感度AUTO調整」で設定します。（p.R14）
- ISO感度設定のステップは、1EVまたは露出設定ステップが選択できます。**C**1メニューの「2. ISO感度ステップ」で設定します。（p.R30）
- **C**1メニューの「3. 拡張感度」で、ISO感度の範囲をISO 100～1600に拡張することができます。（p.R30）
- 高感度時のノイズは、**C**3メニューの「20. 高感度NR」で軽減できます。（p.R32）

露出モードの切り替え

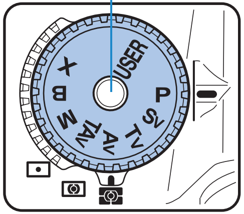
以下の露出モードがあります。

露出モード	機能	露出補正	シャッター速度変更	絞り値変更	ISO感度変更
P ハイパープログラム	プログラムラインに従ってシャッター速度と絞り値を自動設定 電子ダイヤル操作で、シャッター優先／絞り優先に切り替え可能	○	○	○	○
Sv 感度優先	ISO感度を任意に設定	○	×	×	AUTO以外
Tv シャッター優先	シャッター速度を任意に設定	○	○	×	○
Av 絞り優先	絞り値を任意に設定	○	×	○	○
TAv シャッター＆絞り優先	設定したシャッター速度／絞り値に合わせて、ISO感度を自動設定	○	○	○	AUTOのみ
M ハイパーマニュアル	各値を任意に設定	○	○	○	AUTO以外
B バルブ	バルブ撮影	×	×	○	AUTO以外
X ストロボ同調速度	シャッター速度を1/125秒に固定し、シャッター速度が自動的に切り替わらないストロボと組み合わせる場合に使用	○	×	○	AUTO以外
USER ユーザー設定	任意に登録した露出モードと設定で撮影	–	–	–	–

メモ

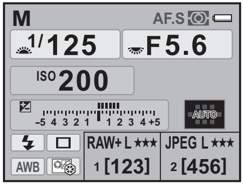
- プログラムラインは、コントロールパネルまたは📷2メニューで設定します。（📖 p.R15）
- **USER**は、📷4メニューで設定します。（📖 p.R20）

1 モードダイヤルロックボタンを押しながらモードダイヤルを回す



2 ／ ダイヤルで設定を変更する

画像モニターの変更対象箇所に ／ が表示されます。



メモ

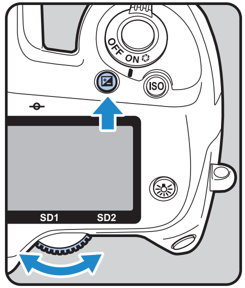
- 各モードでの電子ダイヤルの機能については、**C**4 メニューで設定します。（p.R33～p.R34）

露出補正

露出は－5～+5EVの範囲で補正できます。

1 ボタンを押しながら ダイヤルを回す

補正中は が表示されます。
ボタンを押しながら ボタンを押すと、0.0に戻ります。

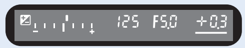


メモ

- 露出設定ステップは、**C**1メニューの「1. 露出設定ステップ」で設定します。（p.R30）

M／Xモードでの露出補正

M／**X**モードのときに、+側に露出補正すると、露出バーはアンダーの表示になります。露出バーの が中心に表示されるように露出を設定すると、補正した値で撮影できます。

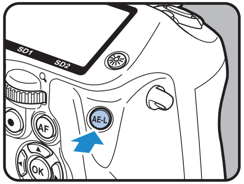


AEロック

撮影前の露出を記憶します。

1 AE-Lボタンを押す

AEロックします。AEロック中は、ステータススクリーン／ファインダー内に✱が表示されます。
もう一度押すと解除されます。



メモ

- **AE-L**ボタンから指を離しても、測光タイマーの半分〜2倍の時間は露出が記憶されています。
- **AE-L**ボタンを押すと、電子音が鳴ります。🔧1メニューの「電子音」で設定が変更できます。（📖 p.R24）
- **M**モードでAEロックすると、露出値を保持したまま、シャッター速度／絞り値が変更できます。
- **B**／**X**モードでは、AEロックは使用できません。
- 次の操作を行うと、AEロックは解除されます。
  - 再度**AE-L**ボタンを押す
  - ▶ボタン／**MENU**ボタン／**INFO**ボタンのいずれかを押す
  - モードダイヤルを回す
  - 測光モード切替レバーを回す
  - レンズを交換する
  - 絞り **A** 位置のあるレンズで、**A** 位置から外すまたは **A** 位置にセットする
- 焦点距離によって開放F値が変わるズームレンズでは、AEロック中にズームを動かすと、シャッター速度と絞り値が変化します。ただし露光量は変わらないため、AEロックした時点の明るさで撮影されます。
- フォーカスロック時に露出を固定できます。**C**1 メニューの「5. AFロック時のAE-L」で設定します。（📖 p.R30）

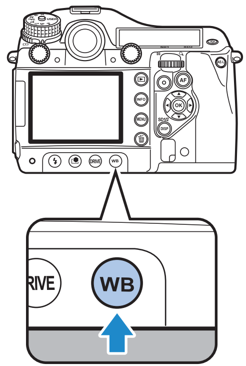
ホワイトバランス

以下の設定ができます。

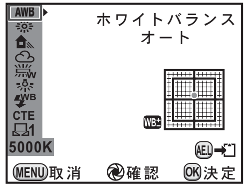
設定		色温度
AWB	オート（初期設定）	約4000〜8000K
	太陽光	約5200K
	日陰	約8000K
	曇天	約6000K
	蛍光灯 D 昼光色蛍光灯 N 昼白色蛍光灯 W 白色蛍光灯 L 電球色蛍光灯	 約6500K 約5000K 約4200K 約3000K
	白熱灯	約2850K
WB	ストロボ	約5400K
CTE	Color Temperature Enhancement	―
	マニュアル1〜3	約2500〜10000K
K	色温度1〜3	―

1 WBボタンを押す

「ホワイトバランス」画面が表示されます。



2 ▲▼ キーでホワイトバランスを選択する

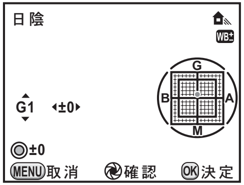


ボタン・ダイヤル等の操作

電源レバー	背景画像をデジタルプレビューで確認
AE-L ボタン	背景画像を新規保存

3 微調整する場合は ▶ キーを押す

G-M／B-Aの座標軸から、各7段階（225通り）の調整が可能です。



ボタン・ダイヤル等の操作

▲▼キー	G-M（グリーン－マゼンタ）間の調整
◀▶キー	B-A（ブルー－アンバー）間の調整
⦿ボタン	調整値のリセット

4 OKボタンを押す

撮影モードになります。

メモ

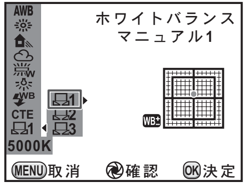
- JPEG画像は撮影後に、ホワイトバランスを再調整することができます。撮影直後に**WB**ボタンを押して設定を変更し、**AE-L**ボタンを押して「新規保存」を選択します。
- 光源を指定してもカメラは自動的に微調整を行います。光源ごとの色温度に固定する場合は、**C**2メニューの「11. WBの光源調整範囲」で設定します。（p.R31）
- ストロボ発光時のホワイトバランスについては、**C**2 メニューの「10. ストロボ発光時のWB」で設定します。（p.R31）

マニュアル設定

マニュアルホワイトバランスは3つまで登録できます。

1 「ホワイトバランス」画面で□を選択し、▶キーを押す

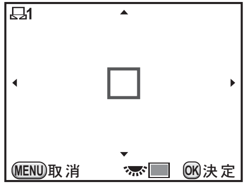
2 ▲▼キーで□1～□3を選択し、▶キーを押す



3 ホワイトバランスを測定する被写体に向けてシャッターボタンを全押しする

4 ダイヤルで、測定範囲を画面全体／スポットから選択する

スポットを選択した場合は、▲▼◀▶キーで測定したい位置に測定枠を移動します。



5 OKボタンを押す

測定が完了すると微調整画面に戻ります。

色温度設定

色温度は3つまで登録できます。（初期設定：5000K）

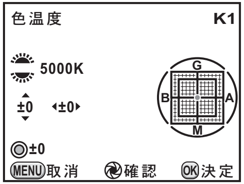
1 **「ホワイトバランス」画面でKを選択し、▶キーを押す**

2 **▲▼キーでK1～K3を選択し、▶キーを押す**

「色温度」画面が表示されます。

3 **／ ダイヤルで色温度を調整する**

電子ダイヤルによって色温度のステップが異なります。



電子ダイヤル	ケルビン	ミレッド
	1ステップ（100K）	1ステップ（20ミレッド）
	10ステップ（1000K）	5ステップ（100ミレッド）

4 **OKボタンを押す**

設定が保存され、「ホワイトバランス」画面に戻ります。

メモ

- 色温度の単位の初期設定はケルビンです。**C**4 メニューの「22. 色温度ステップ」で単位をミレッドに変更できます（数値はケルビン換算で表示されます）。（p.R33）

撮影済画像の設定値登録

このカメラで撮影した画像のホワイトバランス設定をコピーし、マニュアルホワイトバランスに登録します。

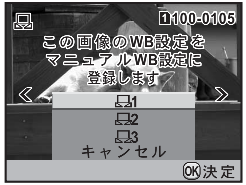
1 **再生モードでホワイトバランスをコピーする画像を表示する**

2 **再生モードパレットで（マニュアルWB登録）を選択する**

登録の確認画面が表示されます。

3 **1～3を選択し、OKボタンを押す**

選択した画像のホワイトバランスがマニュアルホワイトバランスに登録され、撮影モードになります。



注意

- 画像撮影時の微調整値はリセットされます。

メモ

- 再生モードパレットの操作については、「再生機能の設定方法」（p.66）を参照してください。

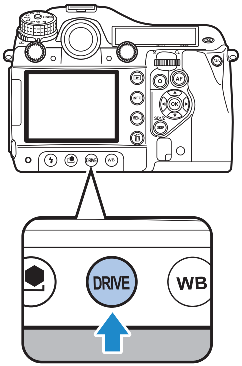
3 撮影編

ドライブモード

ドライブモードは、1コマ撮影／連続撮影／セルフタイマー／リモコンがあります。

1 **DRIVEボタンを押す**

「ドライブモード」画面が表示されます。

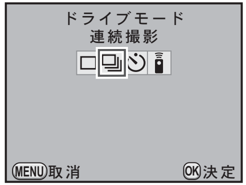


2 **◀▶キーでドライブモードを選択する**

連続撮影

連続撮影は、最大約1.1コマ/秒の間隔で撮影ができます。記録サイズや記録形式などによって、連続して撮影できるコマ数は変動します。

1 **「ドライブモード」画面で⧉を選択し、OKボタンを押す**



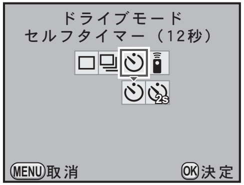
セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影には、次の2種類があります。

⏱	約12秒後にレリーズ
⏱2S	ミラーアップ後、約2秒後にレリーズ

1 「ドライブモード」画面で⏱を選択する

2 ▼キーを押してから◀▶キーで⏱／⏱2Sを選択し、OKボタンを押す



3 シャッターボタンを全押しする

⏱の場合は、カメラ正面のセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約2秒前から速い点滅に変わり、電子音が「ピッピッピッ」という継続音に変わります。

リモコン撮影

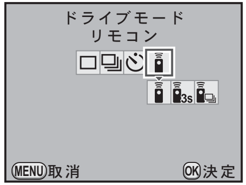
別売のリモートコントロールF／防水リモートコントロールO-RC1を使用した撮影には、次の3種類があります。

📱	即レリーズ
📱3S	ミラーアップしてから、3秒後にレリーズ
📱⧉	リモコンのシャッターボタンを押すと、連続撮影がスタート。もう一度押すと、撮影終了

1 「ドライブモード」画面で📱を選択する

2 ▼キーを押してから◀▶キーで📱／📱3S／📱⧉を選択し、OKボタンを押す

セルフタイマーランプが点滅します。



メモ

- O-RC1の場合、リモコンのAFボタンでAF動作ができます。

インターバル撮影

撮影時刻・間隔を指定し、最大999枚までのインターバル撮影ができます。
📷2メニューで設定します。（📖 p.R17）

注意

- 露出モードが**B**のとき、または拡張ブラケット／HDR撮影が設定されているときは、インターバル撮影は設定できません。

多重露出

2〜9回のレリーズを1枚の画像に合成します。
📷2メニューで設定します。（📖 p.R17）

注意

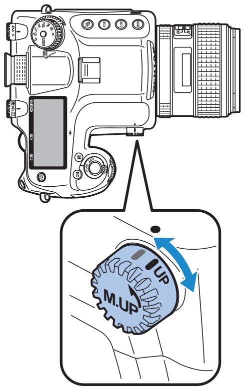
- 多重露出を設定した場合、インターバル撮影／拡張ブラケットは選択できません。
- 多重露出と拡張ブラケット／HDR撮影は同時に設定できません。後から設定した機能が有効になります。
- 多重露出を設定した場合、📷2メニューの「レンズ補正」は無効になります。

ミラーアップ

ミラーをアップした状態にします。他のドライブモードと併用できます。

1 M.UP ダイヤルを回す

ミラーアップ待機状態になります。



2 シャッターボタンを全押しする

ミラーアップします。

3 もう一度シャッターボタンを全押しする

撮影され、ミラーダウンします。
ミラーアップ撮影を終了するときは、**M.UP** ダイヤルを元に戻します。

メモ

- ミラーアップ後、約1分で自動的にミラーダウンします。

注意

- ミラーアップ中にモードダイヤルまたはレンズの絞りリングを操作すると、ミラーダウンします。
- ミラーアップ中は、プレビューはできません。
- ミラーアップダイヤルが **M.UP** になっていても、インターバル撮影時はミラーアップしません。

ブラケット撮影

露出ブラケット

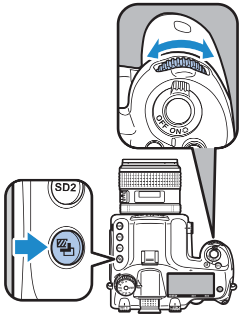
２枚（標準・－側／標準・＋側）／３枚／５枚の露出ブラケット撮影ができます。

メモ

- ブラケット撮影の撮影順は、**C**2メニューの「8. ブラケット撮影順」で設定します。（p.R31）
- 露出ステップ幅は、**C**1メニューの「1. 露出設定ステップ」で設定します。（p.R30）

1 ボタンを押しながら ダイヤルを回し、撮影枚数を設定する

表示パネルで確認します。

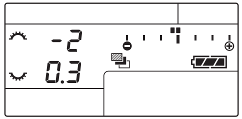


右（時計回り）　OFF→3枚→5枚
左（反時計回り）　OFF→2枚－側→2枚+側

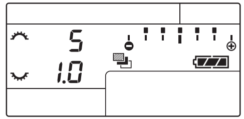
2 ボタンを押しながら ダイヤルを回し、補正値を設定する

ボタンを押しながら⦿ボタンを押すと、OFF／－－に戻ります。

露出設定ステップ	補正値
1/3EV	±0.3／±0.7／±1.0／±1.3／±1.7／±2.0
1/2EV	±0.5／±1.0／±1.5／±2.0



2枚－側・0.3EV



5枚・1.0EV

3 シャッターボタンを全押しする

全押ししている間、連続撮影されます。
所定枚数の撮影が完了する前にシャッターボタンを離した場合、測光タイマーの2倍の時間は、次のブラケット設定値を保持します。
露出ブラケット撮影を終了するときは、手順１の操作で「OFF」に設定します。

メモ

- １回のレリーズで全コマ撮影したい場合は、**C**1 メニューの「7. ワンプッシュブラケット」を設定します。（p.R30）
- 露出ブラケットとP-TTLオートストロボを併用すると、ストロボの光量を連続的に変化させて撮影できます。１コマごとに充電完了を確認してから撮影してください。
- 拡張ブラケットと併用できます。3回レリーズの場合、合計9枚の画像が保存されます。

注意

- 露出モードが**B**のときは撮影できません。
- 多重露出は併用できません。後から設定した方が有効になります。

拡張ブラケット

ホワイトバランス／彩度／色相／キー／コントラスト／シャープネスの任意の項目を3段階に変化させた画像を撮影します。露出ブラケットとは異なり、1回のレリーズで3枚保存します。
コントロールパネルまたは📷2メニューで設定します。
（📖 p.R16）

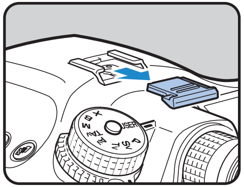
注意

- 記録形式は常にJPEGになり、変更できません。また、記録形式がRAWに設定されている場合は、拡張ブラケットを選択できません。
- 拡張ブラケットを設定した場合、インターバル撮影／多重露出は選択できません。
- 拡張ブラケットとHDR撮影は同時に設定できません。後から設定した機能が有効になります。

ストロボモード

ストロボの取り付け

1 カメラのホットシューカバーを取り外す



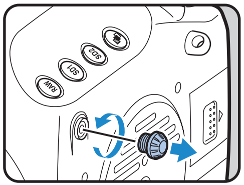
2 ストロボを取り付け、電源を入れる

メモ

- ☼ボタンで、ストロボをモデリング発光またはテスト発光させることができます。**C**5メニューの「34. 外部ストロボの発光」で設定します。（📖 p.R35）

シンクロコードの利用

カメラのXシンクロソケットに、シンクロコードが接続できます。



注意

- 故障の原因となりますので、高電圧や高電流のストロボは使用しないでください。
- 極性が逆（ホットシューまたはシンクロプラグの中心がマイナス）のストロボは使用できません。カメラやストロボが壊れる恐れがあります。
- 連動機能は働きません。
- 後幕によるケラレを防ぐため、同調速度より一段低いシャッター速度を使用して、事前にテスト撮影をされることをお勧めします。
- X シンクロソケットの接点部には防塵・防滴処理が施されていません。使用しないときは常に付属のシンクロソケット2Pキャップを取り付けておいてください。

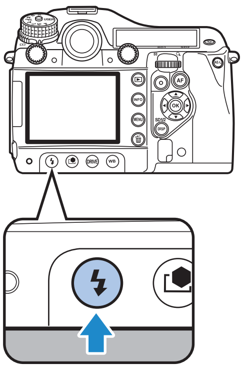
ストロボモードの設定

以下のストロボモードが選択できます。露出モードによって設定できるストロボモードが異なります。

ストロボモード		設定できる露出モード
	強制発光	**P**／**Sv**／**Tv**／**Av**／**TAv**／**M**／**B**／**X**
	強制発光+赤目軽減	
	スローシンクロ	**P**／**Sv**／**Av**
	スローシンクロ+赤目軽減	

1 ⚡ボタンを押す

「ストロボモード」画面が表示されます。



2 ◀▶ キーでストロボモードを選択する



3 ダイヤルで光量を補正する

C1メニューの「1. 露出設定ステップ」（📖 p.R30）の設定によって補正値が異なります

露出設定ステップ	補正値
1/3EV	−2.0／−1.7／−1.3／−1.0／−0.7／−0.3／0.0／+0.3／+0.7／+1.0
1/2EV	−2.0／−1.5／−1.0／−0.5／0.0／+0.5／+1.0

◉ボタンを押すと、0.0に戻ります。

4 OKボタンを押す

撮影モードになります。

3

撮影編

ストロボ適応表

645Dと弊社製ストロボの組み合わせで以下の機能が使用できます。

機能＼ストロボ	AF540FGZ AF360FGZ	AF200FG	AF160FC	AF500FTZ AF330FTZ	AF400FTZ AF240FT	AF400T AF280T AF200T	AF140C AF080C	AF200SA	AF200S AF160 AF140
P-TTLオートストロボ撮影	○ *3	○ *3	○ *3	×	×	×	×	×	×
TTLオートストロボ撮影	×	×	×	×	×	×	×	×	×
外光オートストロボ撮影	○	×	×	×	×	○	×	○	○
赤目軽減機能	○	○	○	×	×	×	×	×	×
充電完了後、ストロボ同調速度へのシャッター速度自動切替	○	○	○	○	○	○	○	○	○
P／**Tv**モード時の絞り値セット	○	×	×	×	×	○ *4	○ *4	×	○ *5
スローシンクロ	○	○	○	○	○	○ *6	○ *6	○	○ *5
ファインダー内でのオートチェック	×	×	×	×	×	×	×	×	×
後幕シンクロ撮影 *1	○	×	×	○ *7	○ *7	×	×	×	×
光量比制御シンクロ撮影	○	×	×	×	×	×	×	×	×
スレーブ	○	×	×	○ *8	×	×	×	×	×
光量補正	○	○	○	×	×	×	×	×	×
AF補助光投光	○	×	×	○	○	×	×	×	×
マルチストロボ	×	×	×	○ *8	×	×	×	×	×
ハイスピードシンクロ撮影 ワイヤレス撮影 *2	○	×	×	×	×	×	×	×	×

*1 使用可能シャッター速度に制限あり
*2 対応ストロボが2台以上必要
*3 A645／A★645／FA645／FA★645／D FA645レンズを使用した場合のみ
*4 発光モードがMS／Mの場合、絞り値が自動で変化
*5 発光モードがMS／Mの場合、**Tv**モード時は絞り値が自動で変化
*6 絞り値が自動で変化
*7 フル発光
*8 AF330FTZは不可

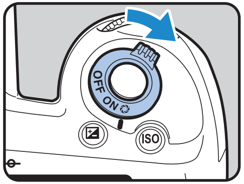
プレビュー

ファインダーで確認する「光学プレビュー」（初期設定）と画像モニターで確認する「デジタルプレビュー」があります。

光学プレビュー

1 被写体を確認し、電源レバーを⦿に合わせる

レバーを合わせている間、ファインダー内で被写界深度が確認できます。この間、ファインダー内の情報表示は消え、シャッターはきれません。



2 電源レバーから指を離す

光学プレビューが終了し、撮影できる状態になります。

デジタルプレビュー

1 📷3メニューで「デジタルプレビュー」を設定する

『メニューリファレンス』を参照してください。（📖 p.R18）

2 被写体を確認し、電源レバーを⦿に合わせて指を離す

画像モニターにプレビューが表示されます。

ボタン・ダイヤル等の操作

ダイヤル	拡大表示（p.67）
AE-L ボタン	プレビュー画像を新規保存

3 シャッターボタンを半押しする

デジタルプレビューが終了し、カメラが合焦動作に入ります。

メモ

- デジタルプレビューの表示時間は最長60秒です。

3

撮影編

カスタムイメージ

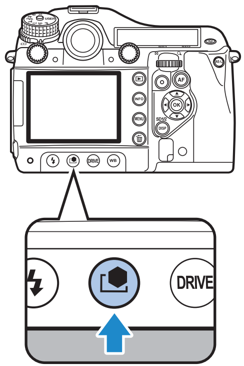
画像の仕上がりイメージ（画像仕上）を設定して撮影します。「画像仕上」は、鮮やか／ナチュラル（初期設定）／人物／風景／雅（MIYABI）／ほのか／リバーサルフィルム／モノトーンの8種類から選択し、それぞれ以下のパラメーターが調整できます。

パラメーター	設定
彩度 *1	−4～+4
色相 *1	−4～+4
フィルター効果 *2	なし／グリーン／イエロー／オレンジ／レッド／マゼンタ／ブルー／シアン／赤外調
調色 *2	−4～+4
キー *3	−4～+4
コントラスト*3	−4～+4 • コントラストハイライト調整／コントラストシャドー調整の詳細設定に変更可
シャープネス	−4～+4 • ファインシャープネスに変更可

*1 画像仕上が「リバーサルフィルム」「モノトーン」のときは設定不可
*2 画像仕上が「モノトーン」のときのみ設定可
*3 画像仕上が「リバーサルフィルム」のときは設定不可

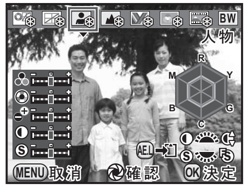
1 ボタンを押す

カスタムイメージの設定画面が表示されます。



2 ◀▶キーで画像仕上を選択する

3 ▲▼キーで変更したいパラメーターを選択し、◀▶キーで設定を変更する



ボタン・ダイヤル等の操作

ダイヤル	コントラスト詳細設定の有効／無効切り替え
ダイヤル	シャープネス／ファインシャープネス切り替え
電源レバー	背景画像をデジタルプレビューで確認
AE-L ボタン	背景画像を新規保存

4 OKボタンを押す

撮影モードになります。

メモ

- JPEG画像は撮影後に、カスタムイメージを再調整することができます。撮影直後に[icon]ボタンを押して設定を変更し、**AE-L**ボタンを押して「新規保存」を選択します。
- 画像仕上で「リバーサルフィルム」が選択されている場合、ホワイトバランスが**AWB**のときは、デイライトフィルム相当で撮影されます。

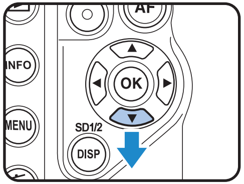
MEMO

4 再生・加工編

再生機能の設定方法

再生に関する機能は、再生モードパレット／▶メニューで設定します。

1 再生モードで機能を設定する画像を表示し、▼キーを押す



再生モードパレットが表示されます。



メモ

- SD1／SD2カードの両方に画像が記録されている場合は、**DISP** ボタン／**SD1**ボタン／**SD2** ボタンで再生するカードを切り替えることができます。
- ▶メニューについては、『メニューリファレンス』を参照してください。（p.R22）

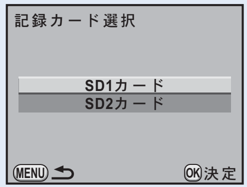
再生モードパレット

項目	機能	参照
画像回転	画像の回転	p.74
デジタルフィルター	画像の色調変更や加工、明るさ調整	p.76
リサイズ	画像の記録サイズと画質の変更	p.74
トリミング	画像の切り取り	p.75
スライドショウ	画像を連続再生	p.70
マニュアルWB登録	画像のホワイトバランスの設定をコピーし、マニュアルホワイトバランスに登録	p.52
RAW展開 *	RAW画像をJPEGに変換	p.72
インデックス	複数画像を1枚に貼り付け、新規画像を作成	p.71
画像比較	画像を2枚並べて表示	p.70
プロテクト	画像の保護	p.73
DPOF	DPOF設定（プリント予約）	p.78

* JPEG画像は実行不可

画像の新規保存

デジタルフィルター／リサイズ／トリミング／RAW展開／インデックスで画像を新規保存するときに、SD1／SD2カードが両方とも記録可能な場合は、保存するカードが選択できます。



1 画像表示

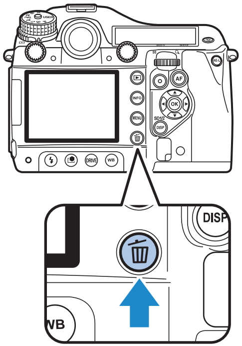
画像の消去

注意

- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像は消去できません。(p.73)

1 消去する画像を選択し、🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。



2 ▲▼キーで「消去」を選択し、OKボタンを押す

メモ

- RAW+で保存されている画像の場合は、どの記録形式の画像を消去するか選択します。
- 複数画像をまとめて消去する場合は、「マルチ画面表示」(p.68)／「フォルダー表示」(p.69)を参照してください。
- すべての画像を消去する場合は、▶1 メニューで「全画像消去」を選択します。(📖 p.R22)

拡大表示

画像を約32倍まで拡大して表示します。

1 拡大表示する画像を選択し、ダイヤルを右(🔍)に回す

1クリック回すごとに画面が拡大(1.2～32倍)されます。



ボタン・ダイヤル等の操作

▲▼◀▶キー	拡大位置の移動
ダイヤル右(🔍)／☒ボタン	表示の拡大(最大32倍まで)
ダイヤル左(⊞)／⦿ボタン	表示の縮小(最小1.2倍まで)
OKボタン	1倍表示に戻る
ダイヤル	拡大倍率と拡大位置を保ったまま、前後の画像を表示
INFOボタン	情報表示の切り替え
DISPボタン／**SD1**ボタン／**SD2**ボタン	拡大率·拡大位置を保持したままSDメモリーカードを切り替え

メモ

- クイックビュー(p.37)／デジタルプレビュー(p.61)中も、同じ操作で拡大表示ができます。
- 拡大表示の最初の拡大率は、初期設定では 1.2 倍です。▶1 メニューの「再生時の表示方法」で、最初の拡大率を設定できます。(📖 p.R22)
- 縦画像は、全体表示が横画像の0.75倍のため、拡大したときの最初の拡大率は1倍になります。

複数画像の表示

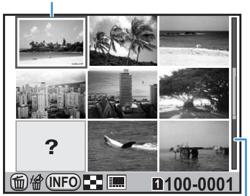
マルチ画面表示

画像モニターを4／9（初期設定）／16／36／81分割して画像を表示します。

1 **再生モードで ダイヤルを左（）に回す**

9画像ずつ表示されます。

選択枠



スクロールバー

ボタン・ダイヤル等の操作

▲▼◀▶キー	選択枠の移動
OK ボタン	選択画像を全画面表示
INFO ボタン	「マルチ画面設定」画面で分割数切り替え  （RAW画像の一括展開（p.72）時は不可）
DISP ボタン／**SD1** ボタン／**SD2** ボタン	SDメモリーカードの切り替え
🗑 ボタン	画像を選択し、まとめて消去

メモ

- 81分割表示の場合は、サムネイル上に **?** などのアイコンは表示されません。

選択消去

最大100枚までの画像をまとめて消去します。

1 **マルチ画面表示で 🗑 ボタンを押す**

81分割になっているときは、一時的に36分割になります。



2 **消去する画像を選択する**

ボタン・ダイヤル等の操作

▲▼◀▶キー	選択枠の移動
OK ボタン	画像を選択（✔）／解除
ダイヤル	選択画像を全画面表示 （◀▶キー：前後の画像を表示）

3 **🗑 ボタンを押し、「選択消去」を選択する**

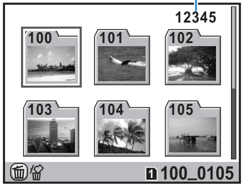
フォルダー表示

画像が保存されているフォルダーごとに表示します。

1　マルチ画面表示でダイヤルをさらに左（）に回す

6フォルダーずつ表示されます。

2　表示するフォルダーを選択する



ボタン・ダイヤル等の操作

▲▼◀▶キー	選択枠の移動
OKボタン	フォルダー内の画像をマルチ画面表示
DISPボタン／**SD1**ボタン／**SD2**ボタン	SDメモリーカードの切り替え
🗑ボタン	フォルダーごと画像を消去

メモ

- フォルダー消去のときにプロテクトされた画像があった場合は、確認画面ですべて消去／すべて残すを選択します。「すべて消去」を選択すると、プロテクトされていた画像も消去されます。
- フォルダー名については、『メニューリファレンス』を参照してください。（p.R26）

カレンダー表示

撮影日ごとに画像を表示します。

1　マルチ画面表示で INFO ボタンを2回押す

画像が保存されている撮影日だけがカレンダー表示されます。



ボタン・ダイヤル等の操作

▲▼キー	撮影日を選択
◀▶キー	撮影日の画像を選択
OKボタン／ダイヤル右（🔍）	全画像表示（ダイヤル左（）：カレンダー表示に戻る）
INFOボタン	マルチ画面表示
DISPボタン／**SD1**ボタン／**SD2**ボタン	SDメモリーカードの切り替え
🗑ボタン	画像を消去

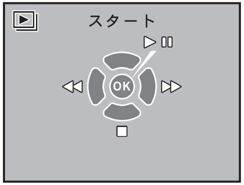
4 再生・加工編

スライドショウ

SDメモリーカードに保存された全画像を連続して再生します。

1 再生モードパレットで▶（スライドショウ）を選択する

スタート画面が表示され、スライドショウが始まります。



ボタン・ダイヤル等の操作

OK ボタン	一時停止／再開
◀▶キー	前後の画像を表示
▼キー／▶ボタン／**MENU** ボタン	スライドショウを終了し、再生モードに戻る
シャッターボタン／**AF** ボタン／モードダイヤル切り替え／電源レバー	スライドショウを終了し、撮影モードに移行

メモ

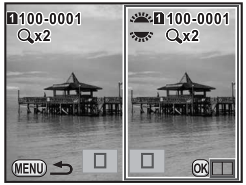
- SD1／SD2カードの両方に画像が保存されているときは、直前に表示した画像が保存されているカード内の画像で、スライドショウを行います。SDメモリーカードの切り替えはできません。
- ▶1メニューの「スライドショウ」で、スライドショウの表示方法を設定できます。（p.R22）

画像比較

2枚の画像を並べて表示します。

1 再生モードパレットで（画像比較）を選択する

直前に再生した画像が左右に並んで表示されます。



ボタン・ダイヤル等の操作

OK ボタン	選択枠の切り替え（右→両方→左）
▲▼◀▶キー	拡大位置の移動
◉ボタン	拡大位置を中央に戻す
前ダイヤル	前後の画像を表示（画像の選択枠が左／右の場合）
後ダイヤル	画像の拡大／縮小
INFO ボタン	情報表示の切り替え
DISP ボタン／**SD1** ボタン／**SD2** ボタン	SDメモリーカードの切り替え（画像の選択枠が左／右の場合）
🗑ボタン	画像を消去（画像の選択枠が左／右の場合）
MENU ボタン	1画像表示に戻る

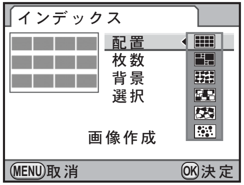
インデックス

複数の画像を１画面に貼り付けてインデックスプリントのように表示し、新規保存します。

1 再生モードパレットで（インデックス）を選択する

「インデックス」画面が表示されます。

2 ▶キーを押し、「配置」の種類を選択する



サムネイル	ランダム2
スクエア	ランダム3
ランダム1	バブル

は、ファイルNo.の小さい順に配置されます。

3 「枚数」を選択して▶キーを押し、貼り付ける枚数を選択する

12／24／36枚から選択します。

4 「背景」を選択して▶キーを押し、背景色を選択する

白または黒を選択します。

5 「選択」を選択して▶キーを押し、画像の選択方法を選択する

全画像	直前に表示した画像が保存されているSDメモリーカード内のすべての画像から自動選択
手動	画像を１つずつ選択 続けて「画像選択」を選択し、画像を指定
フォルダー	指定したフォルダーから自動選択 続けて「フォルダー選択」を選択し、フォルダーを指定

6 「画像作成」を選択する

「処理中です」と表示後、インデックス画像が表示されます。

7 保存／再シャッフルを選択する

保存	インデックス画像を7M・★★★で保存
再シャッフル	画像を選び直し、新たなインデックス画像を表示（「配置」で「サムネイル」を選択した場合は選択不可）

保存が完了すると、再生モードに戻り、インデックス画像が再生されます。

メモ

- インデックス画像の作成は、処理に時間がかかることがあります。
- 保存されている画像の数が「枚数」で指定した枚数より少ない場合、配置が「サムネイル」のときは空欄、それ以外のときは画像が重複して表示されます。

RAW展開

RAW画像をJPEG／TIFFに変換します。

注意

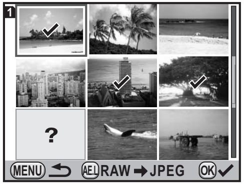
- RAW展開できるのは、このカメラで撮影したRAW画像のみです。他のカメラで撮影した画像は処理できません。

1 **RAW画像を選択し、再生モードパレットで RAW（RAW展開）を選択する**

2 **1画像展開／一括展開を選択する**

「1画像展開」を選択した場合は、画像に記録されているパラメーターが表示されます。ダイヤルを回して画像を切り替えることもできます。手順5へ進みます。
「一括展開」を選択した場合は、マルチ画面表示（p.68）になります。

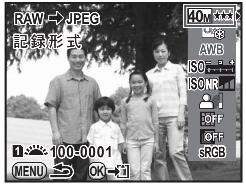
3 **RAW　展開する画像を選択する**



4 **AE-Lボタンを押し、撮影時の設定で展開／設定を変更して展開を選択する**



5 **▲▼ キーでパラメーターを選択し、◀▶ キーで値を変更する**



手順4で「撮影時の設定で展開」を選択した場合は、記録形式／記録サイズ／画質のみ設定します。
ホワイトバランス／カスタムイメージは、▶キーを押すと設定画面が表示されます。

パラメーター	値	参照
記録形式	JPEG／TIFF	–
記録サイズ *1	40M（7264×5440）／32M（6528×4896）／21M（5376×4032）／13M（4224×3168）／7M（3072×2304）	p.43
画質 *1	★★★／★★／★	p.43
カスタムイメージ	鮮やか／ナチュラル／人物／風景／雅（MIYABI）／ほのか／リバーサルフィルム／モノトーン	p.62
ホワイトバランス *2	AWB（オート）／☼（太陽光）／（日陰）／（曇天）／D（昼光色蛍光灯）／N（昼白色蛍光灯）／W（白色蛍光灯）／L（電球色蛍光灯）／（白熱灯）／WB（ストロボ）／CTE／（マニュアル1～3）／K（色温度1～3）	p.50
増減感	−2.0～+2.0	–
高感度NR	オフ／弱／中／強	p.R32
シャドー補正	オフ／弱／中／強	p.R14
ディストーション補正*3	オフ／オン	p.R15

パラメーター	値	参照
倍率色収差補正 *3	オフ／オン	p.R15
色空間	sRGB／AdobeRGB	p.R19

*1 記録形式を「TIFF」に指定した場合は設定不可（40M固定）
*2 多重露出で撮影されたRAW画像は設定不可
*3 対応レンズを使用したときのみ選択可能

6 OKボタンを押す

7 「新規保存」を選択する

手順2で「1画像展開」を選択した場合は、「画像保存が完了しました　続けて展開しますか？」と表示されます。
他の画像も展開する場合は、「継続」を選択します。

メモ

- カスタムイメージ／ホワイトバランスでは、背景画像の保存、デジタルプレビューはできません。
- ホワイトバランスで（マニュアル）を選択した場合は、**INFO**ボタンを押すと測定画面が表示されます。

プロテクト

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

1 再生モードパレットで（プロテクト）を選択する

2 1画像／全画像を選択する

「1画像」を選択した場合は、◀▶キーでプロテクトする画像を選択します。

3 プロテクト／解除を選択する

画像がプロテクトされると、画面右上にが表示されます。

注意

- SD メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も消去されます。

画像回転

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加され、正しい向きで再生されます。回転情報を変更する場合は、以下の手順で再保存します。

メモ

- 回転情報が付加された画像は、カメラを回転させるとカメラの向きに合わせて回転して表示されます。回転させたくない場合は、**C**5メニューの「32. 画像の自動回転」を「オフ」にします。(p.R35)
- 回転情報を付加しない場合は、**C**5メニューの「31. 回転情報の記録」を「オフ」に設定して撮影します。(p.R35)

注意

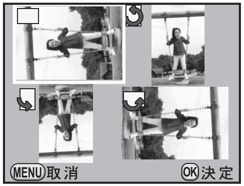
- 次のときは、回転情報を変更できません。
  - プロテクトされた画像
  - 回転情報が付加されていない画像
  - **C**5メニューの「32. 画像の自動回転」が「オフ」になっているとき(p.R35)

1 回転する画像を選択し、再生モードパレットで◇(画像回転)を選択する

画像を90°ずつ回転させた画像が表示されます。

2 ▲▼◀▶ キーで回転方向を選択し、OK ボタンを押す

画像の回転情報が変更されます。



サイズ変更

リサイズ

画像の記録サイズと画質を変更して新規保存します。

注意

- リサイズできるのは、このカメラで撮影したJPEG画像のみです。
- 1.9M にリサイズされた画像を再度リサイズすることはできません。

1 リサイズする画像を選択し、再生モードパレットで(リサイズ)を選択する

2 サイズを選択する

36M/32M/28M/25M/21M/18M/16M/13M/11M/7M/1.9Mから選択できます。(元のサイズによって異なる)



3 画質を選択し、OK ボタンを押す

4「新規保存」を選択する

トリミング

画像をトリミングし、新規保存します。

注意

- トリミングできるのは、このカメラで撮影したJPEG／RAW画像のみです。
- このカメラでリサイズされた 7M ／ 1.9M の画像はトリミングできません。

1 **トリミングする画像を選択し、再生モードパレットで（トリミング）を選択する**

2 **トリミングする大きさと範囲を決める**



ボタン・ダイヤル等の操作

ダイヤル	大きさを変更
▲▼◀▶キー	トリミング位置を移動
INFO ボタン	1°単位（〜±45°）で画像を回転
⦿ボタン	トリミング枠を90°ずつ回転（回転可能なときのみ）

3 **OKボタンを押す**

4 **「新規保存」を選択する**

デジタルフィルター

デジタルフィルターで画像を加工します。
以下のフィルターが選択できます。

フィルター名	効果	パラメーター
モノトーン	単色の画像に加工	フィルター効果：OFF／レッド／グリーン／ブルー／IR(赤外調)
		調色（B-A）：7段階
色抽出	特定の色だけを抽出し、他の部分を白黒に加工	カラー：レッド／マゼンタ／ブルー／シアン／グリーン／イエロー
		感度：－2～+2
カラー	カラーフィルターをかけた画像に加工	カラー：レッド／マゼンタ／ブルー／シアン／グリーン／イエロー
		濃淡：淡／標準／濃
ベースメイク	各パラメーターを調整し、好みの画像に加工	明るさ：±8段階
		彩度：±3段階
		色相：±3段階
		コントラスト：±3段階
		シャープネス：±3段階
ソフト	全体をぼかしたようなやわらかい画像に加工	ソフトフォーカス：+1～+3
		シャドーぼかし：OFF／ON

注意

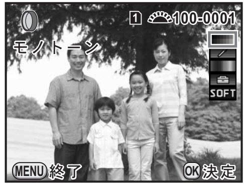
- デジタルフィルターが実行できるのは、このカメラで撮影したJPEG／RAW画像のみです。

フィルターをかける

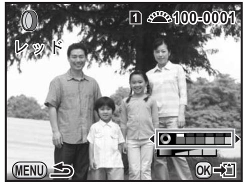
1 **フィルターをかける画像を選択し、再生モードパレットで（デジタルフィルター）を選択する**

2 **▲▼ キーでフィルターを選択し、OK ボタンを押す**

効果が画面で確認できます。
ダイヤルで画像を切り替えることもできます。



3 **▲▼ キーでパラメーターを選択し、◀▶ キーで値を調整してOK ボタンを押す**



例）カラーフィルター

4 **フィルターを重ねる／新規保存を選択する**

画像が保存されます。
続けて他のフィルターを指定する場合は、「フィルターを重ねる」を選択し、手順2から繰り返します。

メモ

- フィルターは10回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィルターを適用します。

1 **フィルターをかけた画像を選択し、再生モードパレットで ◐（デジタルフィルター）を選択する**

2 **「フィルターを再現する」を選択し、OK ボタンを押す**

画像に設定されたフィルターの履歴が表示されます。
INFO ボタンを押すと、フィルターのパラメーターが確認できます。



3 **◀▶ キーでフィルターをかける画像を選択し、OK ボタンを押す**

フィルター処理されていない画像のみ選択できます。

4 **「新規保存」を選択する**

元画像を探す

フィルターをかける前のオリジナル画像を探して表示します。

1 **「フィルターを再現する」の手順2で「元画像を探す」を選択する**

メモ

- オリジナル画像が SD メモリーカード内に残っていない場合は、「フィルター処理前の画像が見つかりません」と表示されます。

DPOF設定

画像にDPOF（Digital Print Order Format）を設定して、プリント枚数や日付を入れることができます。

メモ

- RAW画像はDPOFを設定できません。
- DPOF が設定できるのは、1 枚の SD メモリーカード内で最大999画像です。

1 **再生モードパレットで（DPOF）を選択する**

2 **1画像／全画像を選択する**

「全画像」を選択した場合は、手順4に進みます。

3 **◀▶キーでDPOF設定する画像を選択する**

4 **▲▼ キーでプリント枚数を指定する**

99枚まで設定できます。
解除するときは「00」に設定します。



5 **ダイヤルで日付の☑／□を切り替える**

☑ ：日付をプリントする
□ ：日付をプリントしない
他の画像も設定する場合は、手順3から繰り返します。

6 **OKボタンを押す**

DPOF情報が記録されます。

注意

- 設定中にSDメモリーカードを切り替えることはできません。
- 機器によっては、日付を指定してもプリントされないことがあります。
- 全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定され、1画像ずつの設定は解除されます。

AV機器との接続

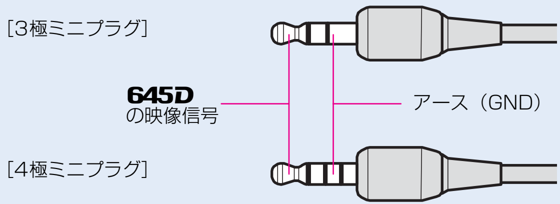
市販のビデオケーブル（ミニプラグ－RCA同軸タイプ）またはHDMIケーブル（タイプC）を使用し、AV機器で画像を再生することができます。

メモ

- 長時間再生するときは、ACアダプターキットK-AC50J（別売）のご使用をお勧めします。（p.30）
- HDMI出力中は、画像モニターは表示されません。
- ビデオ出力とHDMI出力を同時に行うことはできません。
- ビデオ出力方式は、地域によって異なります。初期設定（p.34）で現在地を設定したり、🔧1 メニューの「ワールドタイム」（📖 p.R23）の「時刻切替」を✈（目的地）に切り替えると、その地域に合ったビデオ出力方式が設定されます。うまく映らない場合は、🔧2メニューの「ビデオ出力」で出力方式を変更します。（📖 p.R25）
- HDMI出力方式は、AV機器とカメラが対応する最大のサイズが自動選択されます。うまく映らない場合は、🔧2メニューの「HDMI出力」で出力方式を変更します。（📖 p.R25）

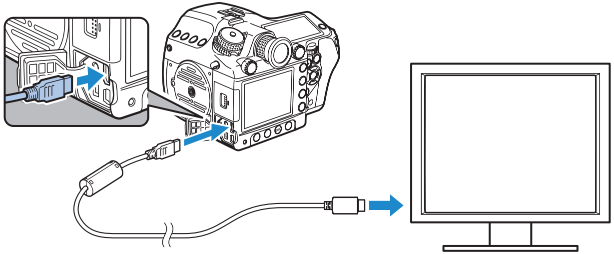
ビデオケーブルについて

このカメラのVIDEO端子は2極です。3極または4極ミニプラグのケーブルを使用する場合は、ミニプラグ先端の信号にあたる色のプラグをAV機器の映像入力端子に接続してください。



1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、ビデオ出力の場合はビデオケーブルをVIDEO端子に、HDMI出力の場合はHDMIケーブルをmini HDMI端子に接続する



3 ビデオケーブル／HDMIケーブルのもう一方の端子を、AV機器の映像入力端子／HDMI端子に接続し、AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがビデオ／HDMIモードで起動し、AV機器にカメラの情報が表示されます。

注意

- ビデオ出力の場合は、AV機器の対応解像度に関わらず、通常の解像度になります。ハイビジョンで出力する場合はHDMI出力を利用するか、パソコンへ転送して再生してください。

MEMO

5 パソコン利用編

パソコンとの接続

撮影した画像は、カメラとパソコンをUSBで接続して転送し、付属のソフトウェアで管理できます。

システム環境

パソコンと接続したり、付属ソフトウェア「PENTAX Digital Camera Utility 4」を使用するには、以下のシステム環境が必要です。

Windows

OS	Windows XP（SP3以降）／Windows Vista／Windows 7（各x64版では32bitアプリケーションとして動作可能）
CPU	Pentium D 3.0GHz相当以上（Intel Core 2 Duoプロセッサ2.0GHz相当以上を推奨）
メモリ	2.0GB以上（3.0GB以上推奨）
ハードディスク空き容量	1GB以上（8GB以上推奨）
モニタ	1280×800以上 （1920×1200以上を推奨）、24bitフルカラー（約1677万色）表示可能なもの
その他	USB 2.0ポート標準搭載

Macintosh

OS	Mac OS X 10.4.11／10.5／10.6
CPU	PowerPC G5 Dual-core 2.0GHz以上（Intel Core 2 Duo プロセッサ 2.0GHz以上を推奨。Universal Binary対応）
メモリ	2.0GB以上（4.0GB以上推奨）
ハードディスク空き容量	1GB以上（8GB以上推奨）
モニタ	1280×800以上（1920×1200以上を推奨）、24bitフルカラー（約1677万色）表示可能なもの
その他	USB 2.0ポート標準搭載、QuickTime 7.0以降

カメラとパソコンの接続

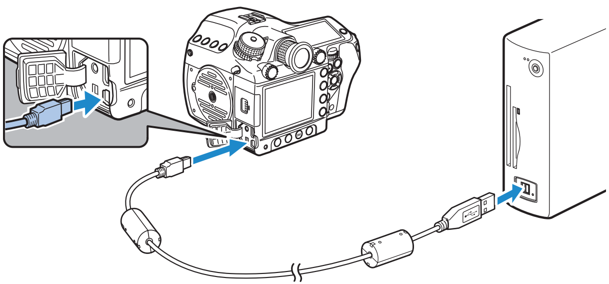
1 **🔧2メニューで「USB接続」を設定する**

『メニューリファレンス』を参照してください。（📖 p.R25）

2 **パソコンの電源を入れる**

3 **カメラの電源を切る**

4 **カメラの端子カバーを開き、USB端子とパソコンのUSBポートを付属のUSBケーブルで接続する**



5 **カメラの電源を入れる**

Windowsの場合は、カメラは「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。

Macintoshの場合は、デスクトップにSDメモリーカードのアイコンが表示されます。

メモ

- カメラの電源を入れたときにWindowsで「リムーバブルディスク」ダイアログが表示された場合は、ダイアログ内の「フォルダを開いてファイルを表示する エクスプローラ使用」を選択してOKボタンをクリックします。
- Windows XPの場合、SDメモリーカードにボリュームラベルがついていると、「リムーバブルディスク」と表示されずにボリュームラベル名が表示されます。フォーマットされていない新しいSDメモリーカードは、メーカー名や型番が表示される場合があります。

6 **カメラの画像をパソコンに保存する**

カメラ内の画像ファイルまたは画像ファイルを含むフォルダーをパソコンにコピーします。

7 **カメラをパソコンから取り外す**

付属ソフトウェアの利用

付属のCD-ROM（S-SW107）には、「PENTAX Digital Camera Utility 4」が収録されています。PENTAX Digital Camera Utility 4は、パソコンに保存した画像の管理や、このカメラで撮影したRAW画像の展開（現像）や色調整などができます。

対応ファイル形式

.bmp（BMP）／.jpg（JPEG）／.pef（PENTAX独自フォーマットのRAWファイル）／.png（PNG）／.tif（TIFF）／.dng（DNGフォーマットのRAWファイル）

インストール

付属のCD-ROMからソフトウェアをインストールします。

メモ

- ご使用のOSで複数アカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

1 パソコンの電源を入れる

他に起動しているソフトがあるときは終了させます。

2 CD-ROM（S-SW107）をパソコンのCD-ROM／DVDドライブにセットする

「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合

[Windows]

1 スタートメニューから「マイコンピュータ」をクリックする
2 「CD-ROMドライブ（S-SW107）」のアイコンをダブルクリックする
3 「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

[Macintosh]

1 デスクトップのCD-ROM（S-SW107）のアイコンをダブルクリックする
2 「PENTAX Installer」のアイコンをダブルクリックする

3 「PENTAX Digital Camera Utility 4」をクリックする



Windowsの場合は、手順4に進みます。
Macintoshの場合は、以降の操作は画面の指示に従ってください。

4 「セットアップ言語の選択」画面で「日本語」を選択し、[OK] ボタンをクリックする

5 日本語の「InstallShield Wizard」画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックする

以降の操作は画面の指示に従ってください。

PENTAX Digital Camera Utility 4画面

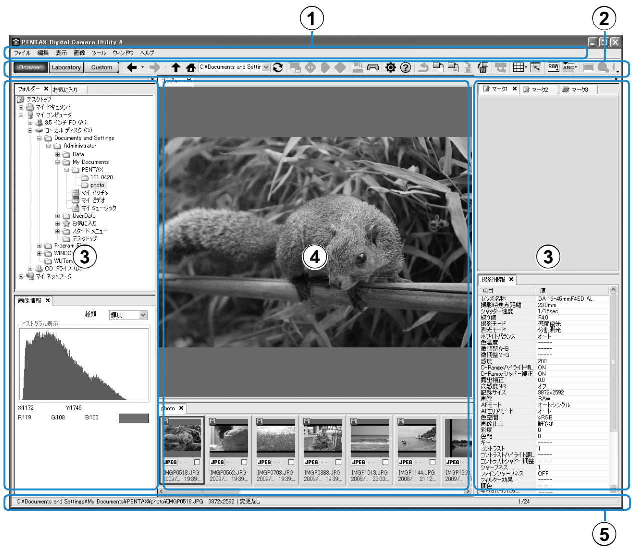
「PENTAX Digital Camera Utility 4」を起動すると、次の画面（Browser）が表示されます。

メモ

• ここではWindowsの画面を例に説明します。

● Browser表示セット（初期設定）

画像の閲覧・管理や画像に関するパネルが表示されます。



① **メニューバー**
機能の実行や各種設定を行います。
Macintoshでは、メニューはデスクトップ上部に表示されます。

② **ツールバー**
頻繁に使用する機能が、ボタンで用意されています。

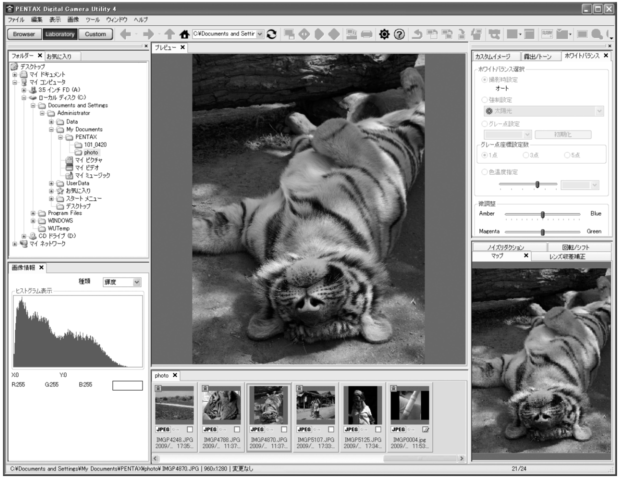
③ **コントロールパネル**
選択した画像の撮影情報や設定のためのパネルが表示されます。ツールバーのBrowser／Laboratory／Customのボタンによって、コントロールパネルの表示セットを切り替えることができます。

④ **ファイル表示ペイン**
選択したフォルダー内のファイル一覧や画像が表示されます。

⑤ **ステータスバー**
選択中の項目の情報などが表示されます。

● Laboratory表示セット（初期設定）

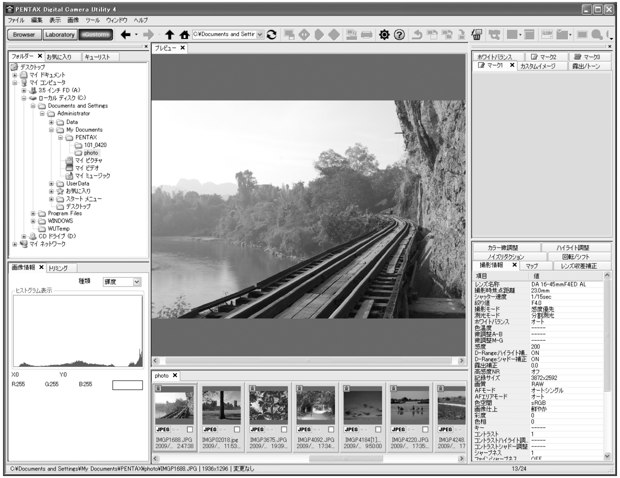
画像調整に関するコントロールパネルが表示されます。



● Custom表示セット（初期設定）

Browser／Laboratoryとは別のパネル表示セットが登録できます。

初期状態では、Browser／Laboratoryで表示されないものも含めて、すべてのパネルが表示されます。



ヘルプの参照

ソフトウェアの詳しい使い方については、ヘルプを参照してください。

1 ツールバーの ? ボタンを押す

または「ヘルプ」メニュー→「PENTAX Digital Camera Utility ヘルプ」を選択します。

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力ください。

1 p.84の手順3の画面で、「Product Registration」をクリックする

2 図のような地図画面が表示されたら、「Japan」をクリックする



パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録をしてください。

ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記アドレスから直接アクセスしてください。

https://service.pentax.jp/pentax/user

MEMO

6 付録

別売アクセサリー

645D で利用できる各種アクセサリーをご用意しています。アクセサリーの詳細については、当社のお客様相談センター、またはお客様窓口にお問い合わせください。
（※）の製品は同梱品と同じものです。

電源関連

バッテリー充電器キット K-BC90PJ（※）
（バッテリー充電器D-BC90P・ACコードD-CO2Jのセット）

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI90P（※）

ACアダプターキット K-AC50J
（ACアダプター D-AC50・ACコードD-CO2Jのセット）
家庭用電源からカメラへ電源を供給します。



ストロボ関連

オートストロボ AF540FGZ
オートストロボ AF360FGZ
AF540FGZはガイドナンバー最大値が約54（ISO 100・m）、AF360FGZはガイドナンバー最大値が約36（ISO 100・m）のP-TTL対応のオートストロボです。スレーブ機能や光量比制御撮影、ハイスピードシンクロ撮影、ワイヤレス撮影、スローシンクロ撮影、後幕シンクロ撮影などが可能です。



AF540FGZ



AF360FGZ

オートストロボ AF200FG
ガイドナンバー最大値が約20（ISO 100・m）のP-TTL 対応のオートストロボです。
AF540FGZ ／ AF360FGZ と組み合わせた光量比制御撮影、スローシンクロ撮影などが可能です。



AF200FG

オートマクロストロボ
AF160FC
近接撮影用のストロボシステムで、小さな被写体の無影撮影などができます。従来のTTLオートストロボ機能にも対応し、同梱のアダプターリングと組み合わせて、幅広くペンタックス製品に利用できます。


AF160FC

ホットシューアダプター FG

延長コード F5P


ホットシューアダプター FG

オフカメラシューアダプター F
外付けストロボをカメラから離して使用するときのアダプターと接続コードです。


オフカメラシューアダプター F

オフカメラシュークリップ
CL-10
AF540FGZ ／ AF360FGZ をワイヤレスで使用するときに、ストロボを机やスタンドなどに固定するための大型クリップです。

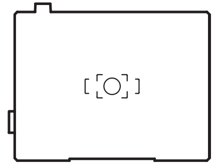

オフカメラシュークリップ CL-10

ファインダー関連

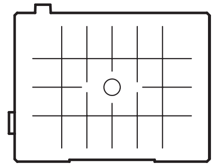
大型アイカップ 645 O-EC107（※）

交換フォーカシングスクリーン

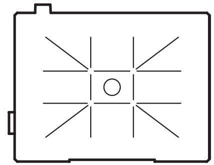
AFフレームマット DF-80（※）



AF方眼マット DG-80



AF黄金分割マット DK-80



ケーブルスイッチ CS-205

ケーブルスイッチ端子に接続して、カメラのシャッター操作を行います。コードの長さは0.5mです。



リモートコントロール

リモコン撮影に使用します。

リモコン操作可能距離　カメラ正面：約4m
　　　　　　　　　　　カメラ背面：約2m

リモートコントロール F



防水リモートコントロール O-RC1



GPSユニット O-GPS1

カメラのホットシューに装着することで、緯度・経度・高度・方位・協定世界時を画像に記録することができます。
電子コンパス／直線ナビが利用できます。



注意

- GPSユニットを使用する場合は、カメラのファームウェアをアップデートする必要があります。アップデートの詳細は、当社ホームページをご確認ください。

ストラップ

カメラストラップ O-ST107（※）

その他

ボディマウントキャップ 645（※）

ホットシューカバー FK（※）

USBケーブル I-USB107（※）

シンクロソケット2Pキャップ（※）

イメージセンサークリーニングキット O-ICK1

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません	SDメモリーカードの容量いっぱいに画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません	SDメモリーカードに再生できる画像が保存されていません。
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。
カードが入っていません	カメラにSDメモリーカードがセットされていません。
このカードは利用できません	カメラがサポートしていないメモリーカードがセットされています。
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、他の機器でフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。カメラでフォーマットしてからお使いください。
カードがロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされたSDメモリーカードがセットされています。SDメモリーカードのロックを外してください。
電子的にロックされています	SDメモリーカードのセキュリティ機能によって保護されています。
この画像を拡大表示できません	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像はプロテクトされています	画像がプロテクトされています。画像のプロテクトを外してください。
電池容量がなくなりました	バッテリー残量がありません。充電されたバッテリーと交換してください。
電池容量がたりないためクリーニングをおこなえません	バッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電されたバッテリーと交換するか、ACアダプターキットK-AC50J（別売）を使用してください。
電池容量がたりないためピクセルマッピングをおこなえません	
フォルダーが作成できません	最大のフォルダーNo.（999）／ファイルNo.（9999）が使用されているため、画像が保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。
画像を保存できませんでした	SDメモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できませんでした。
設定を正しく保存できませんでした	SDメモリーカードが容量いっぱいまで使用されていて、DPOF設定が保存できません。不要な画像を消去して、再度設定してください。
正しく処理できませんでした	マニュアルホワイトバランス測定／ダストアラート検知に失敗しました。もう一度やり直してください。
これ以上選択できません	インデックス／選択削除／RAW一括展開処理は、上限枚数（100枚）以上は選択できません。
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してデジタルフィルター／リサイズ／トリミング／ マニュアルWB登録／RAW展開を実行した場合、または最小サイズの画像に対してリサイズ／トリミングを実行した場合に表示されます。
画像の作成に失敗しました	インデックスで画像の作成に失敗しました。

注意

- SD カードに関するエラーメッセージは、使用しているカードスロットごとに表示されます。メッセージが表示された場合には、それぞれのカードスロットに対して適切な対処を行ってください。

困ったときは

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、バッテリーを入れ直してみてください。また、ミラーが上がったままになった場合には、バッテリーを入れ直してから電源を入れるとミラーが下がります。これらを行いカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。
修理を依頼される前に、次の点をご確認ください。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認してください。
	バッテリーの残量がない	容量のあるバッテリーに交換するか、ACアダプターキットK-AC50（別売）を使用してください。
シャッターがきれない	SDメモリーカードに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。またはSD1／SD2スロットの記録形式の設定を確認してください。
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	転送モードが「PTP」になっている	🔧2メニューの「USB接続」を「MSC」に切り替えてください。（📖 p.R25）

索引

6 付録

さ行

た行

な行

は行

ま行

6 付録

アフターサービス

1 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。

- 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
- 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
- 火災・天災・地変等による故障。
- 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障。
- 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
- お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

製品の点検・修理について

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（離島など、一部の地域を除く）どこからでも電話一本でペンタックス指定の宅配業者がお客様ご指定の日時・場所に梱包資材を持って不具合品を引き取りにお伺いし、専門修理スタッフが修理を行って、お客様ご指定の場所に完成品をお届けするサービスです。（全国一律料金）

電話受付

TEL 0120-97-0405 （フリーダイヤル）
受付時間： 平日 8：00～21：00
土・日・祝日・年末年始 9：00～18：00

宅配便・郵便による修理受付、修理に関するお問い合わせ

http://www.pentax.jp/japan/support/repair.html

PENTAX東京サービスセンター

TEL 03-3960-5140（代） FAX 03-3960-5147
〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11
ヘリオスⅡビル3階
営業時間： 9：00～17：30
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

PENTAX大阪サービスセンター

TEL 06-6271-7996（代） FAX 06-6271-3612
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9
パールビル2階
営業時間： 9：00～17：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス

http://www.pentax.jp/

本製品に関するお問い合わせ

http://www.pentax.jp/japan/support/

PENTAX お客様相談センター

ナビダイヤル　0570-001323
（市内通話料金でご利用いただけます。）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、下記の電話番号をご利用ください。

TEL 03-3960-5705（代）　FAX 03-3960-4976

営業時間　9：00～18：00（平日）
10：00～17：00（土・日・祝日）

休業日　年末年始およびビル点検日

PENTAX 大阪サービスセンター

TEL 06-6271-7996（代）　FAX 06-6271-3612

〒542-0081　大阪市中央区南船場1-17-9
パールビル2階

営業時間　9：00～17：00

休業日　土・日・祝日および弊社休業日

ショールーム・写真展・修理受付

ペンタックスフォーラム

TEL 03-3348-2941（代）　FAX 03-3345-8076

〒163-0690　東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間　10：30～18：30

休業日　毎週火曜日、年末年始およびビル点検日

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属のCD-ROMと当社ホームページから登録が可能です。「パソコン利用編」（p.81）をご覧ください。

ペンタックスリコーイメージング株式会社
〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

53579

R04DTK11
Printed in Philippines